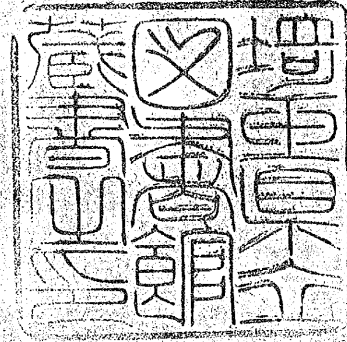




培玉縣產業案内

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20



9715

はしがき

本縣産業の梗概に附するに名所舊跡を以てす、題して埼玉縣産業案内といふ。夫れ本縣の各種産業は如何に經營し發達し、今後如何なる進路に向つて馳驟すべきや、斯界の消息を傳へんが爲其の手引として提供せる案内に過ぎず、今回第十六回關東區實業大會を縣下に開催するに方り、此の小冊子を刊行して來縣各位の東道たらむと爾云

編者誌

埼玉縣產業案内目次

總說.....一

重要物産種類價額統計

農業.....五

一、穀 菽.....五

 武藏米、麥

二、園 藝.....六

 (イ) 蔬 菜.....六

 甘藷、葱、梅田牛蒡

 (ロ) 果 實.....八

 (ハ) 種 苗.....九

 安行苗木.....九

(三)花 卉……………一〇

輸出花百合、福壽草

三、特用作物……………一一

四、農産製造……………一二

狭山茶、蕨細工

五、農事改良上の施設……………一三

耕地整理、模範耕作者耕作組合、牛馬耕、共同苗代、肥料共同配
合、改良農具貸與、採種田の經營

六、農業上の諸機關……………一〇

縣立農事試驗場、縣立熊谷農學校、秩父郡立農業學校、幸手農業
學校、埼玉縣農會

蠶 絲 業……………二四

一、栽 桑……………二五

改良桑園、桑苗木

二、養 蠶……………二七

主なる養蠶地、養蠶組合、繭の集散地

三、蠶 種……………三〇

蠶種貯藏庫

四、製 絲……………三二

主なる製絲場、生絲生産組合、共同返揚所

五、蠶業上の諸機關……………三九

縣立原蠶種製造所、蠶業取締所、競進社、競進社蠶業學校、入間郡
立農事講習所、其他の教育機關

畜 産 業……………四一

一、畜 産……………四二

畜牛、畜馬、山羊、養豚、家禽、屠肉、家畜市場

二、畜産改良上の施設……………四五

去勢の普及、農牛寄託

三、畜産上の諸機關……………四七

埼玉縣畜産會、埼玉縣獸醫會

林業……………四八

縣造林、西川林業、武州西川材木商同業組合、赤松二段林、屋敷林、

鉢形村有林、植樹獎勵、精明村の樹苗、平村製材業、大瀧村の醋

酸石灰、

商業……………五七

一、金融……………五八

銀行、信用組合、其他諸機關

二、取引……………六四

市場、市

三、商業上の諸機關……………六八

川越商業會議所、商工會

工業……………六九

一、染織工業……………六九

双子、武藏飛白、所澤交織、斜子、飯能銘仙、秩父銘仙、生絹、

本場青綿、白木綿、蚊帳さかーせ

二、雜工業……………七九

足袋、眞田類、酒類、醬油、味噌、油類、製粉、鍼線、鑄物、製

紙、煉瓦、雛人形類、桐細工、衡器、菓子類

三、工業上の諸機關……………九四

縣立川越染織學校、縣立圖案調製所

産業組合……………九五

附録名所舊跡

.....九九

六

官幣大社水川神社、蒲櫻、川越の喜多院、高麗王若丸の墓、天覽山、所澤飛行試験場、高坂の岩殿観音、吉見百穴、平の慈光寺、縣社三峰神社、長瀨、官幣大社金鑲神社、埼玉保巳一翁の生地、熊谷寺、妻沼聖天、熊谷の櫻堤、櫻樹の井戸、荒川の沿岸、忍城址、不動岡の不動尊、御獵場、牛島の藤、行幸堤、江戸川の棒出工事、

目次終

總説

我埼玉縣は關東平野の西部に位し、古の所謂武藏野の過半と秩父山嶺とを領有し、全管を北足立、入間、比企、秩父、兒玉、大里、北埼玉、南埼玉、北葛飾の九郡に別ち、内に町四十三、村三百二十九を包有す。面積二百九十七方里にして、南方一帯は東京府と地相交錯し、其の南端は東京市を距ること僅に六哩に過ぎず、西は關東山脈に依りて、山梨、長野の兩縣と境し、北及北東は利根川、烏川、神流川、渡良瀬川及其分流權現堂川、江戸川を隔てて群馬、栃木、茨城、千葉の諸縣に對す。而して西は即ち秩父連峰にして人竈疎なれども、東、南、北の三面は一望涯りなく所謂沃野千里、土壤膏腴、田畠多く、拓け、農桑の業發達し、人煙甚だ稠密なり。大正元年末に於ける全管の戸數は二十萬七千七百九十七戸、人口百三十三萬千六十八人の多きを數へ、一方里平均四千四百八十餘人に當り、更に平坦部のみに付

ては一方里實に八千二百四十有餘人に當る。
 交通陸路は中仙道奥羽街道、日光街道、水戸街道等の外之に亞ぐべき
 數條の支道縱横に貫通して、車馬の往來に便なり。若し夫れ鐵路に至り
 ては上野より發して縣の中央を串通して信越に至る中仙道線あり、大
 宮町より岐れて奥羽に達すべき東北本線あり、其他東京淺草より發し
 縣の東部を縫ふて上毛に至る東武鐵道あり、中仙道線熊谷驛に起りて
 秩父大宮郷に達せんとする上武鐵道あり、又中央東線國分寺驛より起
 りて川越町に達する川越鐵道あり、其他電車馬車等主要地の間に連絡
 するものあれば交通の便略備はれりといふべし。

本縣の地勢は略々前述の如くなるを以て産業としては農産の業を
 主とし織物蠶絲等の副業之れに次ぐ、水産業に至ては殆んど見るに足
 るものなし、今重要物産の種類價格等の統計を示せば左の如し

農業

小	自作ノ別	戸	數
自	兼小作		四五、六〇一戸
自	自作		六七、〇二四戸
自	自作		五七、四五七戸

農産物年生産價格表

(十萬圓以上)

種類	價格	種類	價格
米	一九、二七三、三五九 _四	粟	二八九、五七五 _四
麥	八、四七三、〇三八	蕎麥	二七四、二三三
甘藷	二、四五九、七五八	馬鈴薯	二四八、四一一
大豆	二、一六二、五八〇	蕎麥	二三七、四四四
花豆	五一六、二〇二	梅	一九六、六四六
百	五〇一、九三〇	里芋	一七七、四八二
蘿蔔	四二二、九九四	瓜	一五〇、八六八
柿	四〇八、二三五	勞	一四五、〇〇三
茶	三五〇、〇一七	漬菜	一四四、一〇〇
茄子	三四三、一三二	南	一三〇、八六〇
葱	二九六、六五一	玉蜀黍	一二二、七九八

工産物年生産價格表

(十萬圓以上)

四

種類	價	種類	價
織物	一六、〇五一、八四四 ^円	紡績綿絲	四四三、〇一五 ^円
生糸	九、四八二、六八八	鑄物	三九八、六三五
酒類	三、四三九、七五一	油類	三八六、七二三
足袋類	三、一九一、〇一三	和紙類	三〇四、一三二
麥粉	一、一〇〇、八八五	針線	二九六、八五八
醬油	九八九、九二一	瓦	二五五、三二八
味噌	八七三、九一三	經木眞田	二三五、二二四
指物	四七〇、五五五	乾木眞田	一三一、一〇九
煉瓦	四四三、三二〇	人造肥料	一三〇、五二五

林産物年生産價格表

(一萬圓以上)

種類	價	種類	價
丸太及角材	四八七、六八五 ^円	杉皮	三〇、三二四 ^円
木炭	二二七、七四一	竹材	二七、九一〇
苗木	一八七、一三八	石類	一七、九四〇
挽材	一四五、八〇〇	下駄材	一二、九一一

農業

本縣は武藏野の最平坦なる部分を占むるを以て田畑拓け農桑最も熾なり。最近是等産物の價額は四千八百萬圓に達す。今穀菽、甘藷、果實、蔬菜其他主なる農産製造品等に就き其の梗概を左に説述すべし。

一、穀 菽

本縣穀菽の産額は米の百萬石麥の百四十萬石を最とし、大小豆粟其他の雜穀菽を合せて産出額三千數百萬圓に達せり。

『武州米』

本縣に於ける米の産額は年の豊凶に依りて差あれども大約百萬石に達す。北足立郡の東北部、南埼玉郡、北埼玉郡、北葛飾郡は米の主産地にして本縣産米の大半を占め大里郡熊谷町附近の産米は石原米と稱し

五

米質良好を以て聞ゆ、又北葛飾郡の南部所謂「二合半領」は、關東に於ける早稻栽培地にして年々八月上旬には東京市場に白早稻と稱する走米を出荷しつゝあり。

【麥】

本縣は全國中茨城縣と其産額伯仲の間にありて而も近年二毛作奨勵の結果これのみにて約十萬石の收穫を増し、畑作と合はせて年産額百五十萬石に垂んとす。北足立、入間、南北埼玉の諸郡最産出多く畑一反歩の收穫量多きは六石を數ふるものありて栽培法改良の効果睹るべきものあり。

二、園 藝

(イ) 蔬 菜

本縣生産の蔬菜は其種類頗る多く、其價格も亦六百萬圓に達す、産出

價額の最多きは甘藷にして其産額二百有餘萬圓、蘿蔔、葱、茄子之れに次ぎ何れも三十萬圓乃至五十萬圓に達す、之等の蔬菜類は近く東京市場を控ふるを以て其需要は無限なり、之れ本縣蔬菜栽培業の發達せる所以にして千住青物市場等へ搬出せらるゝもの頗る多し。

【甘藷】

甘藷は前一ヶ年の産額は約三千萬貫にして北足立、入間郡を以て主産地となす、就中入間郡より産出するものは東京市場に於て「本場川越芋」と稱し頗る歡迎せらる。東京市は其主なる需用地なれども中仙道線浦和、與野、大宮、上尾、桶川、鴻巣等の各驛より産出するものは多く東北地方に向て販賣せらる。

【葱】

葱の産額は約二百萬貫にして南埼玉郡岩槻町、同郡潮止村、北足立郡草加町、大里郡新會村の各附近は其主産地なり、岩槻葱は岩槻より出て

千住葱は、潮止草加等より産出するものにして共に古へより人口に膾炙する所なり。

『梅田牛蒡』

南埼玉郡粕壁町在內牧村大字梅田より産する牛蒡は其形大にして味亦佳なり、東京市場に於て賞揚せらるゝ、梅田牛蒡即是れなり。

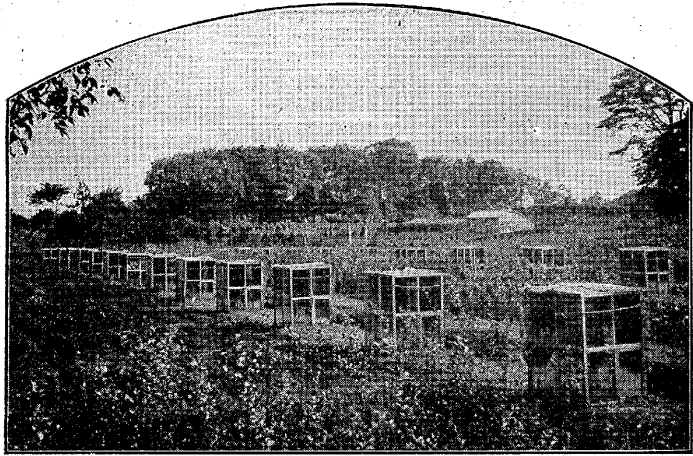
(ロ) 果 實

本縣に於ける果實の産出價額は約百萬圓にして柿の五十萬圓を最とし梅、桃、梨、栗等之に次ぐ、即ち柿は各地に産出すれども比企郡松山町地方の枯露柿は其名高し、桃は南埼玉郡越ヶ谷町粕壁町附近、梅は入間郡梅園村及南埼玉郡越ヶ谷町粕壁町附近産出多く、梨は兒玉大里、比企郡に産し、栗は比企、秩父の兩郡を以て主なる産地となす、比企郡果實同業組合は松山町にあり。

(ハ) 種 苗

『安行苗木』

北足立郡安行村附近一帯の地は苗木の栽培を以て夙に名あり、實に本邦有数の苗木産地にして果樹、桑、造林用、垣根用各種の苗木類及觀賞樹木、花卉類一として産せざるはなく、其の産出價額年々五十萬圓を降らず、而して同地に有限責任安行苗木販賣組合あり、又縣立農事試驗場及同村青年會の經營に係る青酸瓦斯燻蒸室ありて一般業者の苗木



有限責任安行苗木販賣組合の青酸瓦斯燻蒸室

を燻蒸し害虫の驅除を行ふ、中仙道線蕨驛より約二里俵の便あり。又北葛飾郡豊野村に埼玉園藝株式會社ありて各種々苗を販賣す、近年海外に輸出するもの多し、東武鐵道粕壁驛より約三十町俵の便あり。

(三) 花 卉

『輸出花百合』

花百合根は本邦輸出園藝品の一にして、其生産額の多き事本縣を以て最とす、殊に兒玉郡は鐵砲百合の栽培最も古く且つ盛にして産額約二千萬個價五十餘萬圓に達す、本庄驛前に有限責任富國百合根信用販賣購買組合あり、百合根の直輸出を爲すの目的を以て設立せり。又北足立郡大門村を中心とし其附近村落に於ては鹿の子百合根の栽培熾なり。『福壽草』

大里郡西部より兒玉郡東部地方には桑園内に福壽草を栽培するも

の多し、特に大里郡本郷村は著名にして優良種を産す、中仙道線深谷驛又は上武鐵道小前田驛より何れも二里餘俵の便あり。

三、特用農作物

本縣に於ける特用農作物は總產出價額四十萬圓に過ぎざるを以て敢て特筆するに足るものなしと雖、秩父郡内より産する煙草は約九萬貫又全郡並比企郡の一部より産する楮約八萬貫は稍々顯著なるものにして楮は小川製紙の原料に供せらる。其他除蟲菊は比企郡竹澤村より産し、絲瓜、菜種、大麻、藨等は少量づつ

各地より産す、又蒟蒻は秩父郡及比企郡竹澤村地方に栽培し、漸次栽培



兒玉郡丹庄村に於ける百合根栽培状況

區域は擴張せらるゝの状態なり。

四、農産製造

農産製造品は其の種類多く枚舉に遑あらず故に其重なるものゝ二
三に就き説述すべし。



狭山茶の古樹

入間郡豊岡町及元狭山村附近一帯は茶の産地にして所謂「狭山茶」と稱せらるゝものにして年々産出價

額百萬圓を降らず。入間郡茶業組合の設置あり、製茶の改良奨励及製品検査を施行す、入間郡役所内に事務所を設く、又入間郡にては年々製茶傳習所を數ヶ所を開設して茶業の改良を促進せしめ大に斯業の發展

を圖りつゝあり、北足立郡の一部にも亦茶を産す、同じく狭山茶として取引せらる。

主なる取扱者

(茶製造)

主なる製造家

入間郡豊岡町
同郡川越町
同郡入間村

繁田武平
山崎覺太郎
町田源四郎

『藁細工』

南埼玉郡及北葛飾郡を串流する中川沿岸の農家は副業として盛に藁細工を營む、就中細類中十五本繩と稱し各種荷造用繩の製造多く又菰類をも多數製出す、而して斯種の副業は入間、比企二郡の諸村にも行はれ産額大約六拾萬圓に及べり。

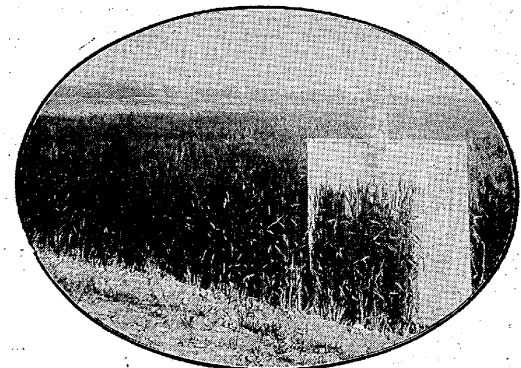
五、農事改良上の施設

本縣に於ける農事改良上の施設は耕地整理、採種田、肥料の共同配合、牛馬耕、耕地整理、地模範耕作、耕作組合、農具改良等重なる事業なりと

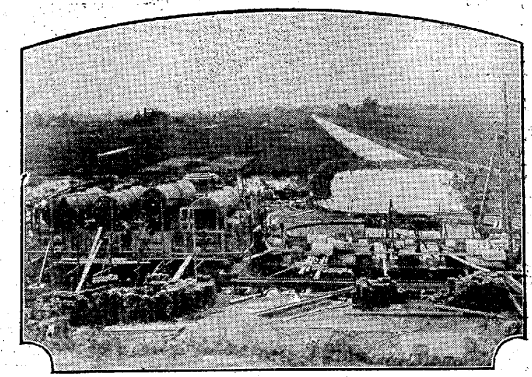
す左に説明すべし。

『耕地整理』

耕地整理は最初縣農會之が獎勵の任に當り、實施勸誘に努め明治三十四年七月北埼玉郡太田村大字小針耕地整理地區六十一町歩の工事完成を告げたるは實に本縣耕地整理の嚆矢となす。次で三十五年三月北足立郡鴻巣常光耕地整理地區三百八十六町歩工事完成し、爾來續々として整理實行を見たり今主なる地區二三に付き述べんに、南埼玉郡新方領耕地整理組合は實に二町七ヶ村に跨り明治四十二年工事に著手し今や完成に近く其工費十六萬九千七百餘圓面積二千九百三十三町歩本縣最大の耕地整理なりとす。是



新方領耕地整理地に於ける毛二栽培状況



川邊領耕地整理組合排水機掘付工事の實況

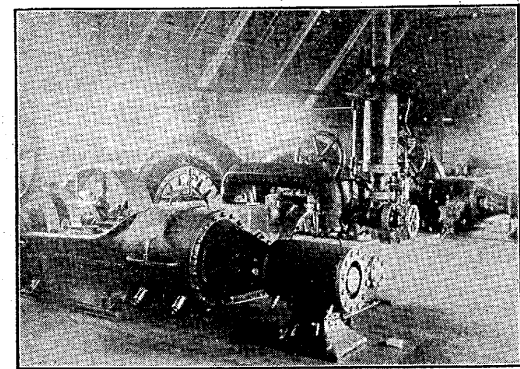
に亞ぐは比企郡川島領耕地整理にして同郡中山村外五ヶ村に跨り面積二千二百八十四町歩工費貳拾參萬貳千餘圓を費し、北埼玉川邊領耕地整理は元和村外二ヶ村に跨り面積千二百三町歩、工費貳拾

壹萬九千五百餘圓を以て大排水機を据付け大樋管を新設せし等實に企劃大なり。北葛飾郡中庄内耕地整理は富多村外三



同組合用水樋管

ケ村に跨り面積七百十九町歩、工費拾萬四千貳百餘圓を費して工事は



機水排合組理整地耕内庄中

既に完成せり、整理後の灌漑は極めて良好にして二毛作の作付をなし得るに至れり、然し是迄耕地整理工事監督完了せる地區六十七ヶ所、面積一萬二千九百二十七町歩、目下監督中のもの五ヶ所、面積一千三百四十町歩、合計地區七十二ヶ所、面積一萬四千二百六十七町歩に及べり。

「模範耕作者」

明治四十一年度より耕地整理既成地に於ける農業状態に鑑み年々模範耕作を選定し補助金を交付して、耕耘肥培の改善、水田二毛作付の奨励を併はせ行ふ、大正二年度に於ける模範耕作者四十二人、耕作面積九町五

反歩餘なり。

『耕作組合』

明治四十三年度よりは、更に耕地整理既成地をして工作物其他設備の維持管理、稲作の改善、水田二毛作の普及、其他諸般の施設經營の改善を圖らん爲め耕作組合を設置せしめ、以て耕地整理の完璧を期するに努め、年々縣費より補助金を交付す、大正二年度に於ける組合數は三十一ヶ所、耕作面積四千二百七十七町七反歩餘なり。

『牛馬耕』

畜力を應用して耕耘を爲さしむるは、農業經營上緊要事なるを以て、牛馬耕を



況實の耕馬牛

奨励し、町村農會をして傳習會を催さしめ、縣よりは技術員を派遣し以

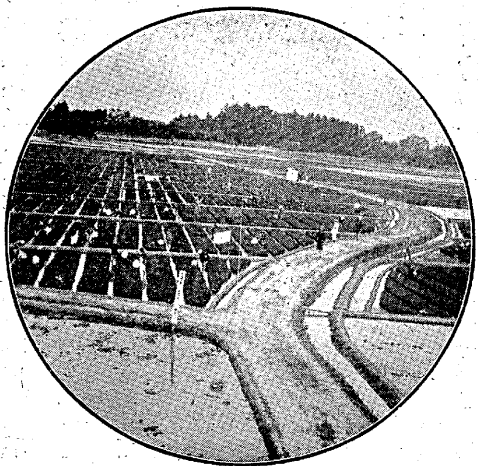
て之れが普及に努力しつゝあり。

『共同苗代』

共同苗代は灌漑排水、害蟲驅除、除草等の管理を共同作業し、勞力と經費とを節減する等利益大なるを以て之が普及發達に努め、今や各地に於て行はるゝに至れり。

『肥料の共同配合』

明治四十四年秋季肥料共同配



南埼玉郡津條村共同苗代地に於ける驅除害蟲の實況

合の有利なるを認め、町村農會産業組合等を奨励して、之を行はしめたるに、甚だ好結果を得、今や各地に於て實行せらるゝに至れり。入間郡山田村有限責任山田信用購買組合の如きは肥料配合所を新設し大に見

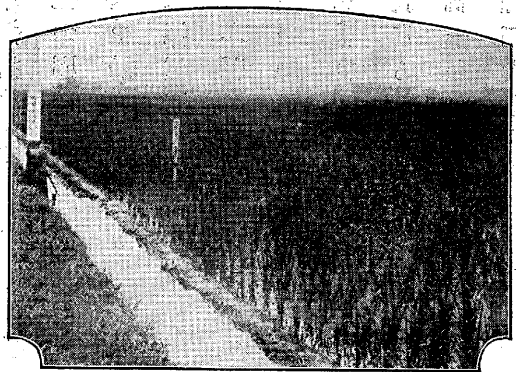
るべきものあり。川越町より約半里俾、馬車の便あり。

『改良農具の貸與』

明治四十四年以來縣費中に農具改良費を置き、唐箕、速轉車、正條植の準繩、折簇器、水田除草器、其他數種の改良農具を購入して、町村農會其他の團體及農事熱心家等に貸與して、其の利便を知得せしめ、之れが普及を計りつゝあり。

『採種田の經營』

本縣の産米は作付反別六萬五千町歩、收穫高壹百有餘萬石にして、物産中の首位にあり、故に之れが改良發達を企てし事已に歳久しく、縣郡及農會等の各種機關に於て夫々施設奨励に努めたりしが、縣は更に善良なる種子を一般に普及せしめ、農家經濟の向上を圖ると共に品種の統一を期せんとする目的を以て、曩に縣立農事試驗場に原々種田及原種田を設置し、遺傳及形態上優良なる品種を撰別し、大正二年度に於て

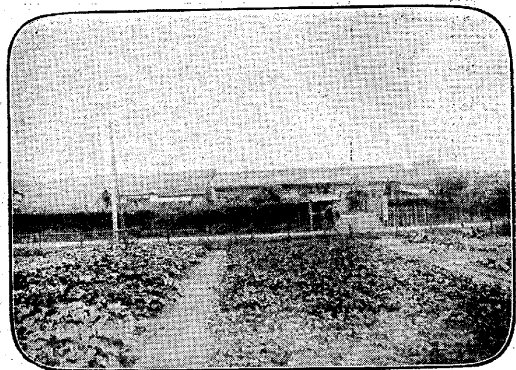


埼玉縣採種田

採種田を縣内各郡に亘り三十六ヶ所、十
二町歩を設け、何れも其土地篤農家に管
理を囑託し、種子を原種田に仰ぎ、現に各
採種田を通じて改良愛國、四十日、虎之尾
天竺、都賀錦保村の六品種を栽培す。尙ほ
在來より栽培せる近江、關取、荒木等の品
種は縣内に於ける重要品種なるが故、目
下縣立農事試験場に於て之れに改良を
加へつゝあるを以て、遠からず採種田に
移し大に普及を期せんとす。

六、農業上の諸機關

『縣立農事試験場』



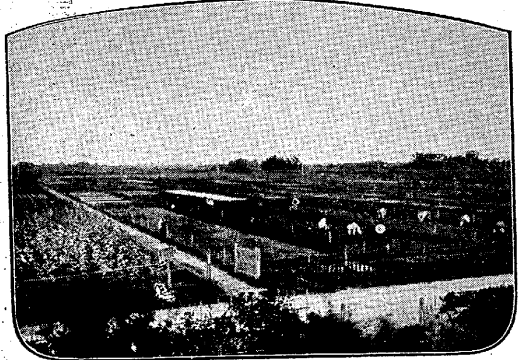
縣立農事試驗場 其一

明治三十九年の設立にして、種藝、化學
園藝、養蠶、病蟲、庶務、會計の七部に別ち、諸
般の試験調査を行ひ、農民の指導に努む、

又農家の子弟を教養するの目的を以て見習生の入場を許す。本場は大里郡玉井村

にあり、中仙道線熊谷驛より一里餘又籠原驛よりすれば二十町俵の便あり。

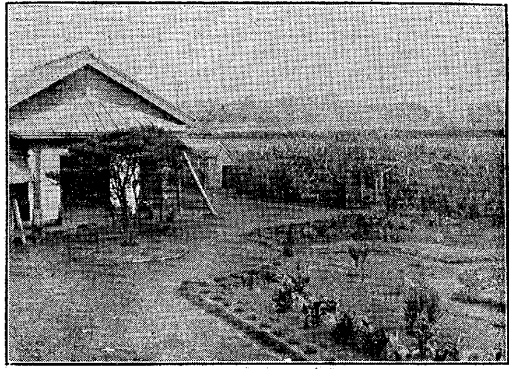
園藝部は別に浦和町に設置し、専ら蔬菜



同上 其二

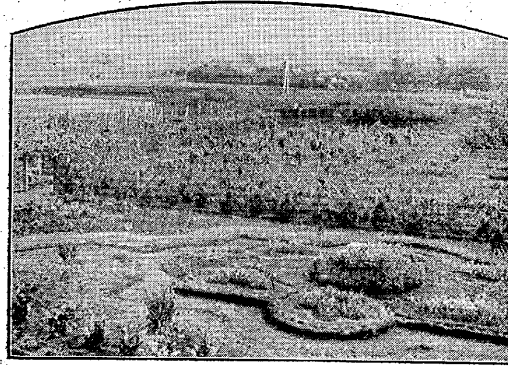
果樹、草花等の試験を行ふ、同驛前にあり。
『縣立熊谷農學校』

明治三十四年の設立にして甲種程度



縣立農事試驗場園藝部 其一

の農學校なり豫備科一年、本科卒業年限三箇年にして熊谷驛を距る西方約半里



同上 其二

の地にあり。

『秩父郡立農業學校』

明治三十四年の設立にして、最初乙種程度

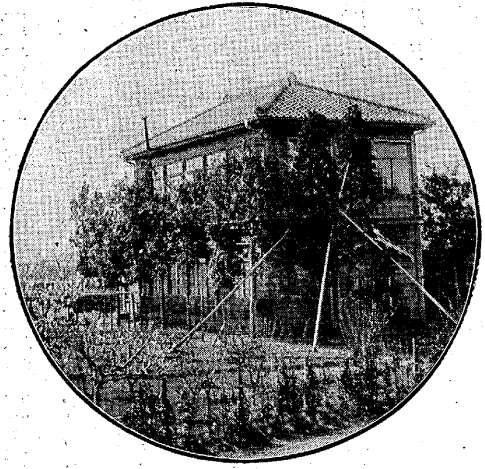
なりしを後甲種に變更せり、秩父郡大宮町にあり、上武鐵道の終點より約三里傳、馬車の便あり。

『町村學校組合立幸手農業學校』

北葛飾郡幸手町にありて、乙種程度に依り農業教育を施す、東北本線久喜驛より一里傳馬車の便あり。

『埼玉縣農會』

浦和町縣廳裏にあり、帝國農會を初め郡町村農會及行政機關と連絡して諸般の調査獎勵等に努めつゝあり、今重なる事業の種類を擧ぐれば農事上各種の講習講話、物需の共同購入、共同販賣の幹旋、種禽種豚の改良、麥陸稻採種場

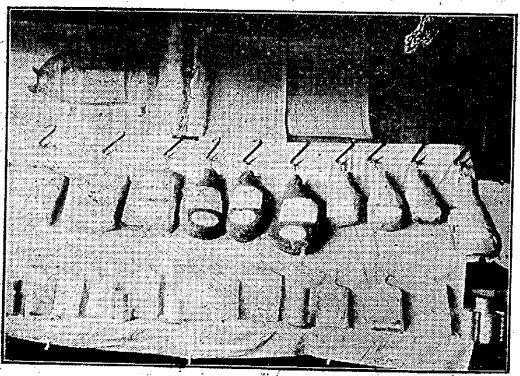


埼玉縣農會事務所

の設置、俵装の改良、農家經濟調査、病蟲害驅除豫防の獎勵、優良町村農會の表彰、郡農會技術員の設置、地主會の獎勵、機關雜誌の發行、肥料の改良、副業の獎勵、其他にして年々壹萬參四千圓の經費を支出す。又郡農會町村農會は各地方の狀況に鑑み、緩急輕重を見計らひ、農家に對し適當の指導をなすを怠らす。

蠶絲業

本縣蠶絲業の起源は極めて遠く、紀元五百五十年即ち人皇第十代崇神天皇の御代に於て既に多少行はたるが如く、其の後高麗人の歸化して入間郡地方(今の高麗村附近)に入るに及び著しく發達したり、然るに徳川氏



埼玉縣農會豚肉加工講習會製品

の末葉に至り一度禁絹令の發布ありて衰退の狀ありしが、安政年間外國貿易に次ぎ維新後に於ける生糸貿易隆盛を極むるに及び古き歴史と長き經驗とを有する本縣の蠶絲業は、旭日昇天の勢を以て發達し、最近繭及生絲は何れも各生産價額一千萬圓に近く、實に全國中第四位に位す、以下細目に涉り項を追ふて述ぶる所あらんとす。

一、栽桑

本縣は西北の部、畑地に富めるを以て桑園も亦多く、東南の部、水田多きを以て桑園少し、而して西北部と東南部は地形異なるを以て、桑園の仕立方に於ても亦自ら異なる、即ち東南部の平地は専ら根刈仕立にして西北部に至るに従ひ多く中刈若くは高刈仕立なり、栽植せらるる桑樹の種類は數十種の多きに達すれども、早生桑にありては主として市平、多胡、中生桑にありては、魯桑、杣桑、九紋龍、青木、鶴田、晚生桑にありて

は十文字なり。桑園の面積最近の調査によれば二萬六千五百餘町歩にして、内春蠶用二萬四千六百七十餘町歩、秋蠶専用千八百六十餘町歩なり尙左に栽桑上特殊の事項を説明すべし。

『改良桑園』

兒玉郡青柳村地方は故競進社長木村九藏氏の出でし所にして桑園改良の範を垂れ、地方人之に倣ひて改良に努めたる結果、後進の範と爲すに足るもの尠からず、中仙道線本庄驛より約四里俾の便あり、又入間郡地方には改良せられたる秋蠶専用桑園多く殊に勝呂村にては桑園の耕地整理を行ひ栽培方殆んど理想に庶幾し、川越町の北方約二里俾の便あり。

『桑苗木』

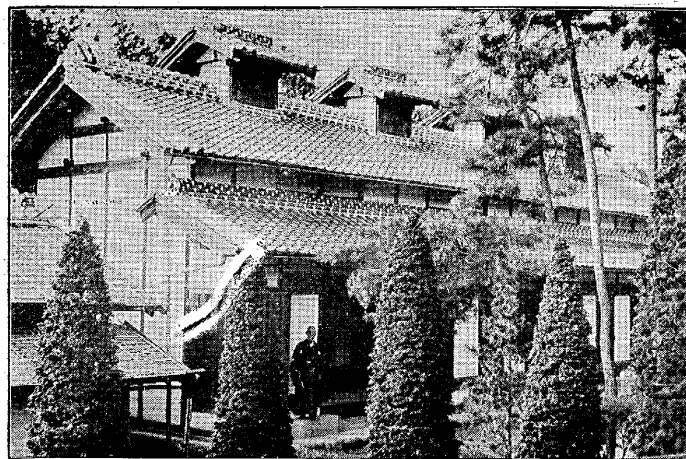
兒玉郡丹庄村(本庄驛よ)北足立郡馬宮村(川越電車遊馬停留所より約三十町)及中丸村(鴻巣驛よ)入間郡日東村(川越町よ)等よりは、優良の桑苗木を産す、其種類

は如何なるものと雖求め得られざるなく、全国各地に販路を有す、取引上の便に供せん爲左に重なる販賣業者を紹介すべし。

- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 丹庄村 | 大島和輔 | 馬宮村 | 磨田友吉 |
| 日東村 | 田中寅吉 | 中丸村 | 加藤仙次郎 |

一、養蠶

養蠶業亦栽桑に伴ふを以て縣の西北部に位する兒玉、秩父、大里、比企、入間の諸郡最盛にして北埼玉、北足立の二郡之に亞ぎ、南埼玉、北葛飾郡地方は未だ充分なる發達を見ず、其飼育法は専ら折衷育法にして蠶の種類は數十種あれども春蠶は白玉、又昔飼育數量の約八割を占め、秋蠶は大和錦、白龍、多摩錦、入間錦等最も多し、大正元年に於ける養蠶家の總數九萬九百七十一戸、掃立枚數春蠶二十萬五千三百五十一枚、夏秋蠶十一萬八千四十四枚、收繭額春蠶十七萬九千五十六石、夏秋蠶八萬四千六百八十一石、此の價額約一千萬圓なり、尙養蠶業に關し特殊の事項に就



一の其 室蠶養るけに村柳青郡玉兒

て述ぶる處あるべし。

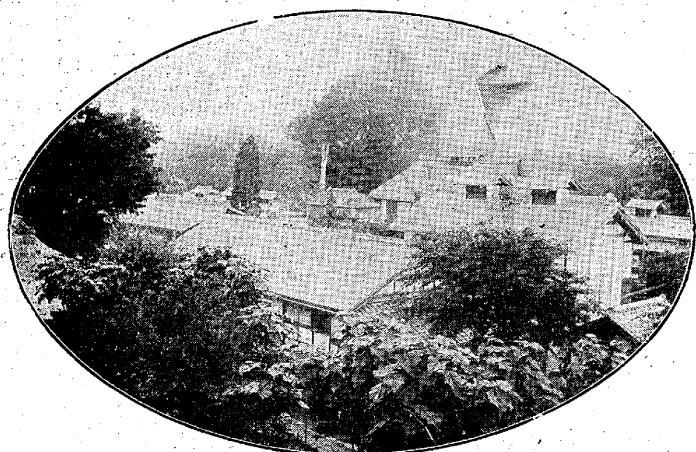
二八

『主なる養蠶地』

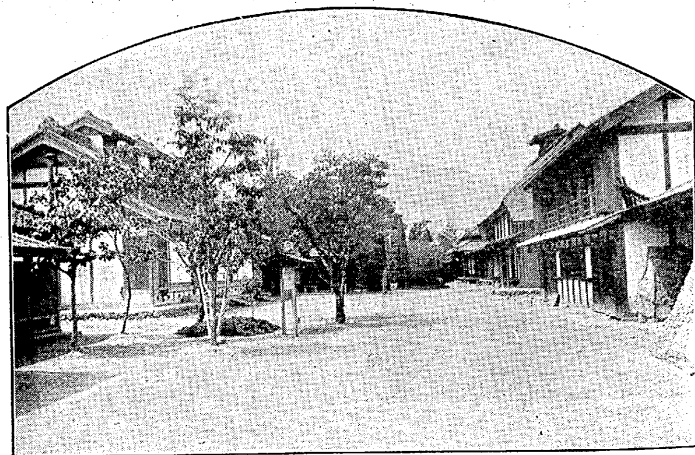
兒玉郡青柳村及兒玉町地方は縣下に於て最も進歩したる養蠶地にして模範とすべき養蠶家亦尠からず、而して全郡仁手村藤田村及秩父郡大宮町樋口村等には大養蠶家多く、入間郡は各地方とも秋蠶盛んなり。

『養蠶組合』

稚蠶共同飼育及養蠶用品共同購入の目的を以て、近時養蠶組合の設立を見る、組合總數百組合員



二の其 上 同



三の其 上 同

二九

二千六百人を算す。

『繭の集散地』

兒玉郡本庄町は、本縣唯一の繭の集散地たるのみならず全國中右に出づるもの殆むどなかるべし、實に毎年の取引價額約百五十萬圓の巨額に達す。其他北埼玉郡羽生町、加須町、大里郡熊谷町、深谷町、寄居町、北足立郡鴻巣町、桶川町、比企郡松山町、小川町、入間郡川越町、入間川町、豊岡町、飯能町、兒玉郡兒玉町等も亦盛んなる集散地にして、此等各地の總取引價額一千萬圓に達す。

三、蠶種

本縣に於ける蠶種の製造は春蠶種にありては兒玉、秩父の兩郡最も盛にして比企、北埼玉、大里の諸郡之に亞ぐ、秋蠶にありては、入間郡獨り盛んなり、而して製造蠶種の種類は養蠶の項に於て述べたる處と大差なく、其の販路は群馬、東京、千葉、茨城、神奈川の諸府縣最も多きを占め、其他全國各縣に及べり、蠶種同業組合は各蠶業取締所支所の管轄區域を組合の區域と定め設立したるもの七之が聯合會ありて蠶業取締所内に事務所を置く、尙前一ヶ年間に於ける蠶種の製造額左の如し。

計	蠶種	
	特別種	普通種
春	一、四二〇、三三二枚	二三七、〇七四枚
夏	五八、二一二枚	五一四枚
秋	七、二六六、〇二八枚	一一、二七六枚
計	一八、七四四、五七二枚	二四九、八六四枚

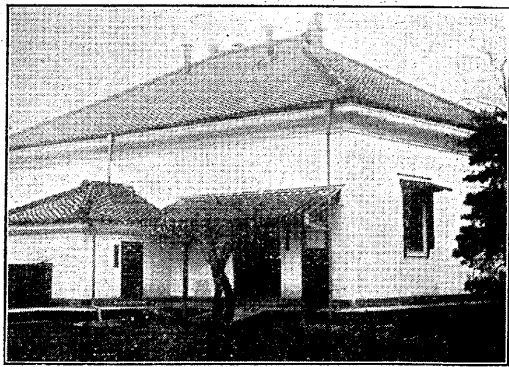
附言 蠶種製造戸數六百十七戸

『蠶種貯藏庫』



兒玉郡本庄町に於ける繭の取引實況

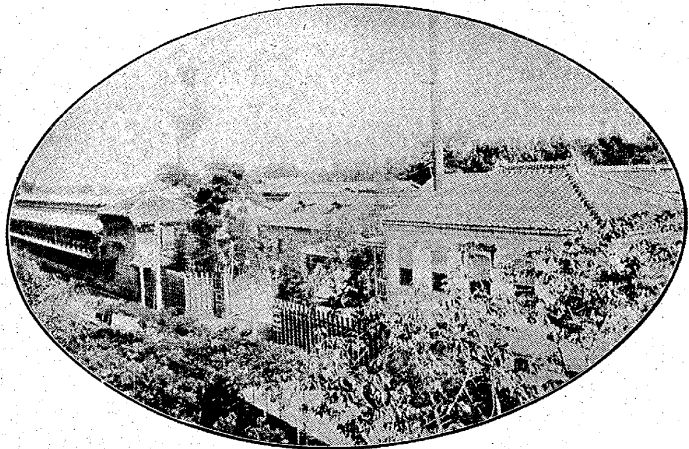
明治二十五年故競進社長木村九藏氏の主唱に依り創設したるものにして、即日本蠶種貯藏株式會社と稱す、其の蠶種保護室及寒暖と乾濕とを人為的に調和する装置は專賣特許を得たるものにしてよく四萬枚の蠶種を貯藏するを得べし、汎く春蠶種貯藏の委託に應ず、中仙道線本庄驛より數町の間にあり。



日本蠶種貯藏株式會社

四、製 絲

本縣は繭の産額多く、加之關東及東北地方より繭輸送の便あるを以て製絲工場を設くる者多く、又近年所謂上州南三社の内碓氷社及甘樂社に屬する共同生糸場返場に於ては産業組合法に據り機械製絲場設

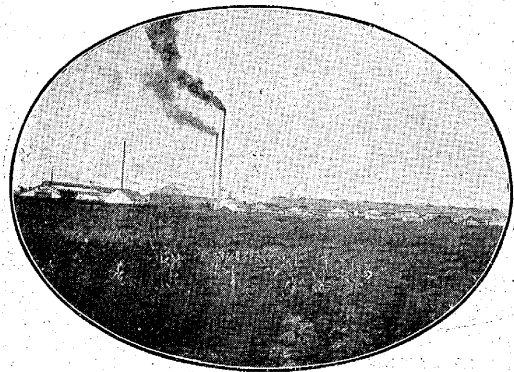


石川製絲所第三工場

置を企つる者漸く増加し遂に工場總數五十箇所、釜數壹萬餘、生産價額壹千餘萬圓の多額に達せり。本縣生糸の總産額は機械生糸十三萬三千七百五十九貫、座繰製絲四萬八千九貫、玉絲三千二百九十五貫、合計十八萬五千六十三貫なりとす。近年是が製糸工場を統轄し斯業の改良進歩を圖るの目的を以て全管を區域とせる埼玉製絲同業組合の組織中にあり。

『主なる製絲場』

(一)石川製絲所 入間郡豐岡



今組製絲所

町にあり、第一工場及第二工場を同町に
 置く釜數第一工場三百九十四第二工場
 百九十三第三工場は川越町にありて釜

數三百七

十六第四

工場は入

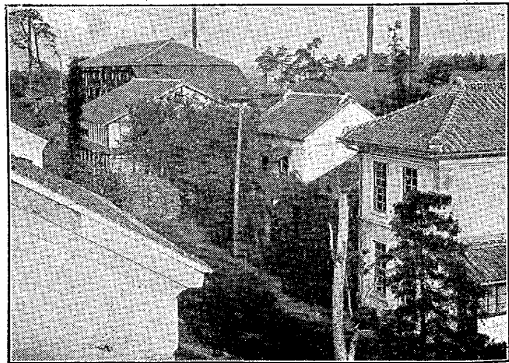
間川町に

あり釜數

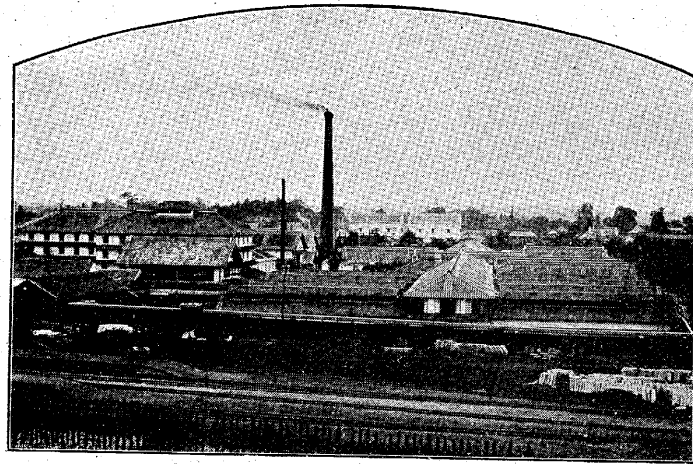
二百合計

千百六十

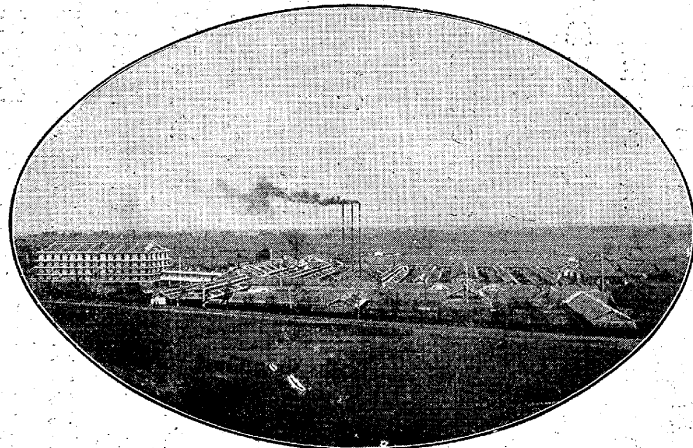
三を有し、實に本縣最大の製絲工場に
 して、石川幾太郎氏等兄弟の經營に係
 る合名會社なり。



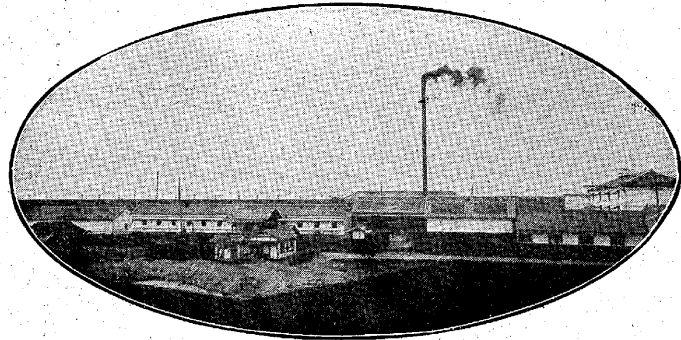
大宮館製絲所



開國館製絲所



富國館製絲所



片倉組製絲所

(二)開國館

製絲所 大

里郡深谷町

にあり中仙

道線同町停

車場前に煙

突高く聳ゆ

るもの即ち

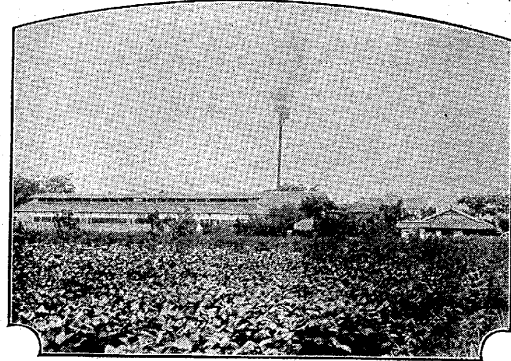
開國館にし

て設備完全

に近し、釜數約壹千にして一工場として

本縣中最も大なるものなり。

(三)富國館製絲所 大里郡深谷町にあ



埼玉製絲株式會社

三六

り、開國館と並び稱せられ規模宏設備完全に近く、九百六十四釜を有す。

以上の外重なる機械製絲工場の名稱、所在地釜數を掲記せば左の如し

名	稱	所在地	釜數
大宮館	製絲所	北足立郡大宮町	六百餘釜
山丸組	製絲所	同郡同町	五百五十釜
今組	製絲所	兒玉郡本庄町	六百五十釜
橘館	製絲所	同郡同町	二百七十四釜
大星館	製絲所	同郡同町	二百釜
三井製絲	所	同郡同町	百七十六釜
原製絲	所	同郡本泉村	二百釜
大和館	製絲所	同郡神保原村	三百五十釜
林組	製絲所	大里郡熊谷町	五百三十釜
尾澤組	製絲所	同郡同町	二百七十一釜
片倉組	製絲所	大里郡熊谷町	二百三十六釜
熊谷製絲株式會社		同郡同町	百八十八釜
埼玉製絲株式會社		北埼玉郡三俣村	二百五十釜

(本縣最古の製絲工場)

(群馬縣富岡製絲所分工場)

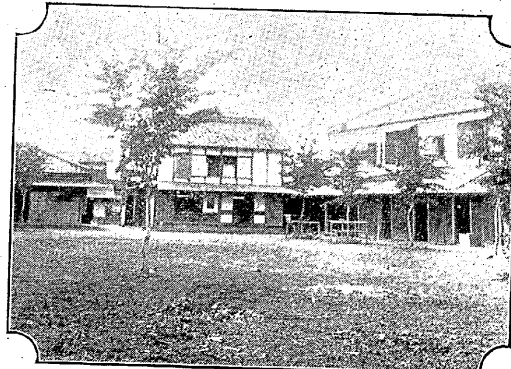
三七

『生絲生産組合』

こゝに生絲生産組合とは碓氷社甘樂社(信用販賣組合聯合會)に屬し生絲の製造をなすものを云ひ元是れ地方養蠶家が副業として共同製絲を爲すを目的とするものなるを以て大規模の工場なく、五十釜乃至七十釜のもの多し現に碓氷社に屬するもの十五組合甘樂社に屬するもの十組合合計二十五組合釜數千二百餘なり。

『共同揚返所』

生絲生産組合と同じく碓氷社甘樂社に所屬し、座繰製絲又は機械製絲の共同揚返を爲すもの即共同揚返所なり秩父、兒玉、大里の諸郡に其數最も多



場工分庄本社樂甘會合聯合組賣取用信任責限有

く、兩社に屬するもの六十八組合、其の窓數三千二百五十三に達せり。

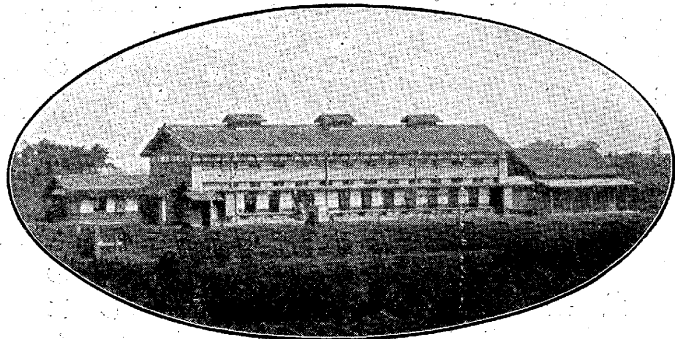
五、蠶業上の諸機關

『縣立原蠶種製造所』

大里郡熊谷町にあり、蠶業各般に亘る試験及原蠶種製造を爲さんが爲本年四月設立せり。

『蠶業取締所』

埼玉縣蠶業取締所を縣廳内に浦和、川越、松山、大宮(郡)本庄、熊谷、加須の七ヶ所に支所を置く、就中本庄支所は規模最も大なり、中仙道本庄驛より約二丁餘。



所造製種蠶原立縣

『競進社』

四〇

兒玉郡兒玉町にあり、明治十年故木村九藏氏の創設せるものにして養蠶傳習所及蠶業學校等を經營して生徒を教育し且全國各地に教授員を派遣して養蠶家の實地指導に努む。



競進社蠶業學校

『競進社蠶業學校』

兒玉郡兒玉町にあり、競進社の經營に係る、農業學校規程乙種程度に依り蠶業教育を施す、本科卒業年限二ケ年とし設備の完全に近きと相俟つて本校の養蠶法は一種の特徴を有するが故に全國各府縣遠くは朝鮮及支那より笈を負ふて來り學ぶ者尠からず、尙本科の外に別科及女子部等あり。

『入間郡立農事講習所』

入間郡の施設にして、農家の子弟に須要なる蠶業上の智識技能を授くるを目的とす、本科別科の別あり、當分本科を開講せず、學科は農閑期に教授し、實習は郡内重なる養蠶家に託して之を行はしむ。

『其他の教育機關』

南埼玉郡潮止村に蠶桑試驗義會蠶業講習所あり、佐藤國藏氏の經營する處にして養蠶業に關する智識と實地とを教授す、四化蠶の飼育は同所の特色とする所なり、又秩父郡樋口村に林養蠶傳習所あり、合理的養蠶法を教授す、前者は常磐線龜有驛より約一里半、後者は上武鐵道樋口驛より二十町何れも俾の便あり。

畜産業

本縣に於て往古牛馬を産せしは史に載する處なれども、中古以來蕃

殖の業殆んど廢滅し専ら飼養のみに歸し現今は一部に於て馬の蕃殖を行ふに過ぎず、隨て生産數も亦僅少なり。畜牛に至りては乳肉の需要に伴ひ年々其の數を増加したれども、未だ他の主産地に比する能はず。之れ本縣は帝都に接近し且交通至便なるを以て畜産物需給上の都合宜しく、養豚家禽の如き著しく其生産額を増加したるは自然の勢なり。乳牛の如きも亦年々飼養數の増加したるは需給の必要に伴ふ結果に外ならず以下各項に就きて之が大要を説述すべし。

一、畜産

『牛』

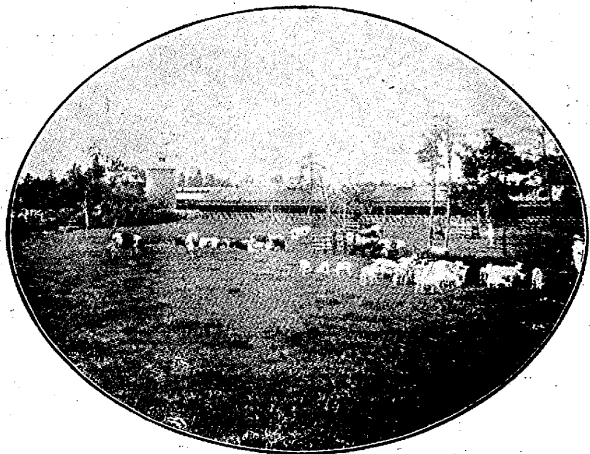
縣下に飼養せらるゝ牛數は現在三千二百頭産犢六百二十頭就中、ホルスタイン種及、アシャ種は主なる種類にして乳用を目的とす、牛乳の生産高は約五千石にして殆んど管内の需用に供せらるゝと雖近時東

京市へ搬出の計畫をなすを見るに至れり、牧場の主なるものは大宮種牛牧場とす、範を米國に則り規模組織共に完全に近きを見る、是角倉氏の經營に係るものにして、中仙道線大宮驛より南方數町の處にあり。

『馬』

縣下の飼養馬數は二萬四千頭内、牝一千頭なれども蕃殖用極めて少なし、秩父、兒玉の南部には生産を營む者あれども其數百頭に充たず、然れども種牡馬としては比較的優良種を使用するを以て其産駒に於ては優等なるもの尠なからず。

『山羊』



大宮種牛牧場

縣下現在飼養せらるゝ山羊數三百三十頭盡く乳用にして「ザーネン種」を主とす羊乳需用上近年著しく生産増加の傾向あり。

「豚」

現在飼養豚數は一萬四百頭にして年々六千五百頭を蕃殖し其半數は縣外に移出す種類は「パークシャー種」及「ヨークシャー種」とす。

「家禽」

農家の副業として飼養する家禽は其數四十五萬羽にして毎年十二萬羽内外を育雛し一箇年の産卵價額四十八萬圓に達す種類は「レグホン種」及「ミノルカ種」の卵用を主とし「プリモースロック種」の如き兼用種之に亞ぐ又本縣に於ては淡水の利用に依り鶯の飼養も亦尠からず現在飼育數八千五百羽にして毎年七千羽内外を孵化し種類も亦善良なるものなり。

「屠肉」

屠肉は豚肉の需用最多くして年々需要増加し最近の調査に依れば約四千頭に及び屠牛は五百頭内外にして馬肉は極めて少なし。

「家畜市場」

縣下に於ける家畜市場は常設四ヶ所定期開設一ヶ所にして何れも大正元年の設立なり今名稱及所在地を記さば左の如し。

- 株式會社熊谷常設家畜市場 大里郡熊谷町
- 常設大宮家畜市場 北足立郡大宮町
- 常設武藏家畜市場 入間郡小手指村
- 常設本庄家畜市場 兒玉郡本庄町
- 定期浦和家畜市場 北足立郡浦和町

右の内熊谷、大宮、本庄は牛馬の賣買を主とし各地より集合す、武藏市場は羊牛の賣買最盛なり。

一、畜産改良上の施設

畜産業改良上の施設事項中主なるもの左の如し。

『去勢の普及』

本縣に於ては牛馬の管理及飼養上より其資質を改良し脂肉の供給

上より其の生産價額を増加せしむべきは甚だ急務なりしを以て明治三十七年以來去勢の奨勵を開始したり、而して前一ヶ年の去勢頭數は馬百十五、牛八十四に及ぶ、尙去勢牛馬斃死の場合には賠償の方法を設けて之が普及を圖りつゝあり。

『農牛寄託』

役畜を利用し土地の改良及び畜産の發達を計るの目的を以て明治四十三年以來農牛五十餘頭を當業者に寄託して蕃殖の傍使役を爲さ



牛託寄縣玉埼

しむ其蕃殖及使役上の成績大に見るべきものあり。

三、畜産上の諸機關

『埼玉縣畜産會』

明治四十二年八月畜産業者相互の氣脈を通じ畜産事業の改良發達を圖るの目的を以て、縣下の當業者約六百名團結して斯會を設立して基本金の蓄積に努めつゝあり。

『埼玉縣獸醫會』

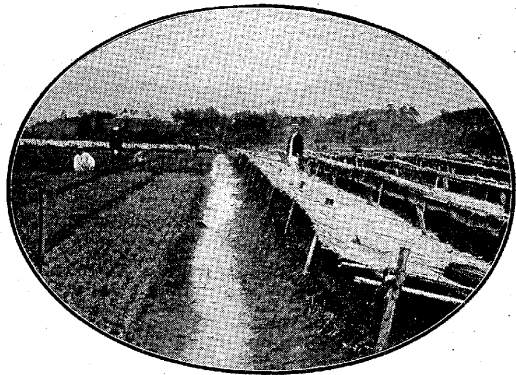
明治二十三年始めて本會を設立し獸醫蹄鐵工の連絡を保ち斯業上の智識と業務の發達を計るを以て目的とす現在會員百五拾名常に獸類の衛生及畜業の改良に努力しつゝあり。

林業

四八

本縣林野分布の狀態は西方秩父地方は山岳に富み其他の地方は丘陵及平地林其大部を占む天然林は荒川水源地方に多く今尙鬱蒼たる原生林をなせり(二部荒廢せるもの外)扁柏、榎、唐檜、胡桃、鹽地、厚朴、枹、桂、山毛櫸、栗、槲、櫨等繁茂す次に人工林は山岳地の一部丘陵及平原地の大部分を占め、杉、扁柏、赤松、檜、櫨等を主として植栽せり本縣の林野面積は臺帳面に據るときは二十二萬五千町歩なるが曩に國有林實測の結果により推定したる面積は則ち國有林野一萬七千三百四十二町歩(實測)公有林野八千町歩(推定)社寺有林野三千町歩(推定)私有林野十三萬六千町歩(推定)合計十六萬四千三百四十二町歩たらむか以下少しく細目に涉りて述ぶる所あらむとす。

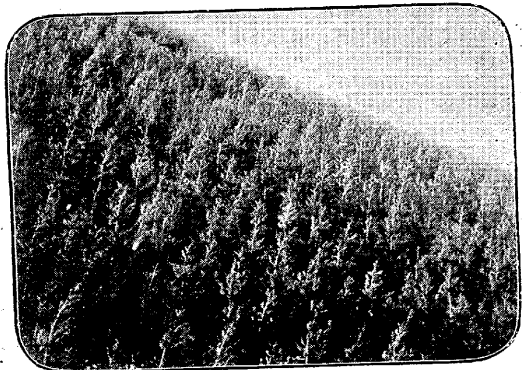
縣造林 は本縣基本財産を造成すると共に現實に造林の模範を示



玉 縣 苗 圃

し以て斯林業の發達に資せんとするを目的とし金拾八萬餘圓を以て二千二百町歩に對する造林計劃を立て明治三十九年より秩父郡大宮町に苗圃を設けし杉、扁柏の樹苗を養成し同四十年より造林

に著手し今日に至れり既に山地に移植したるもの五百餘萬本面積一千四百五十二町歩に達したるを以て同四十五年四月秩



玉 縣 造 林

四九

父郡役所内に縣造林事務所を設置し係員を派して専ら保護經營に従事せしめつゝあり。

五〇



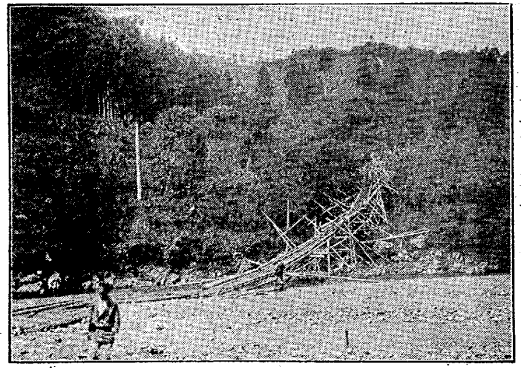
入間郡吾郡地方の森林

『西川林業』は本縣下荒川の支流なる入間川流域に屬する地區を總稱す、就中秩父郡名栗地方を第一とし入間、秩父の兩郡に跨り山岳重疊して地味肥沃なり、同地方林業の起原は遠く江戸幕府の開設當時既に植栽伐木行はれたる既、本縣の林業を代表するに足るものなり。其の林産物は杉、扁柏の角材を主として丸太、挽材、板等の最も舊き歴史を有し諸般の設備方法完備し本縣の林業を代表するに足るものなり。

平均一ヶ年産額は參拾餘萬圓に達し關東地方に於ては多摩川流域の

青梅丸太と共に併び稱せらるる地なり。

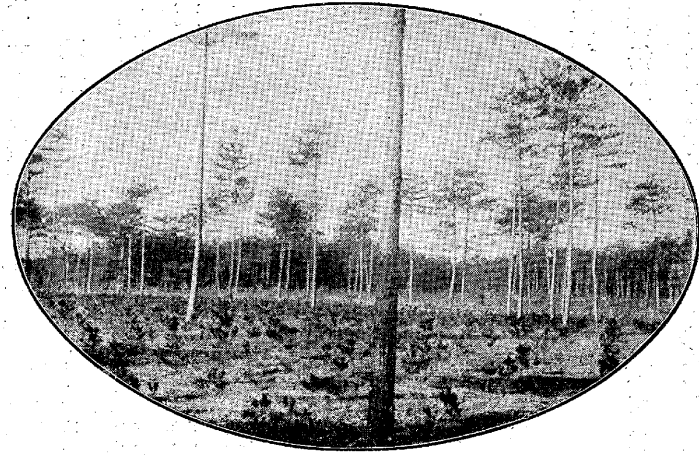
『武州西川材木商同業組合』抑も本組合は天保年代の創立にして爾來幾多の變遷を経て今日に至れり。其組合地域は一町十箇村一大字に跨る、而して本組合は組合員一致協同して營業上の弊害を矯正し其の信用を増進せむが爲に木材加工の検査、筏組立法の制限及河川の浚渫道路の開鑿水難の防備等の事項を處理す事務所は入間郡飯能町にあり。



秩父郡名栗地方の修羅出

『赤松二段林』平地林に於ては同一地所より用材と薪炭材とを得るの目的を以て赤松林の林相を上木、下木の二段となし一町歩に付大約

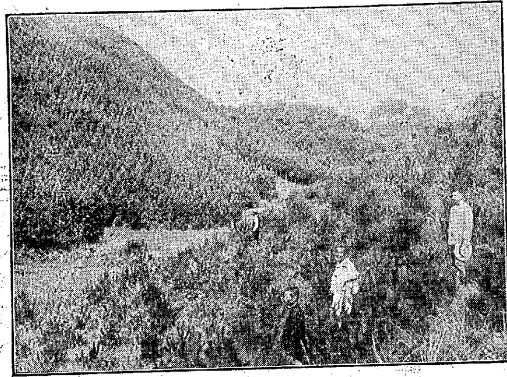
五一



赤松の二段林

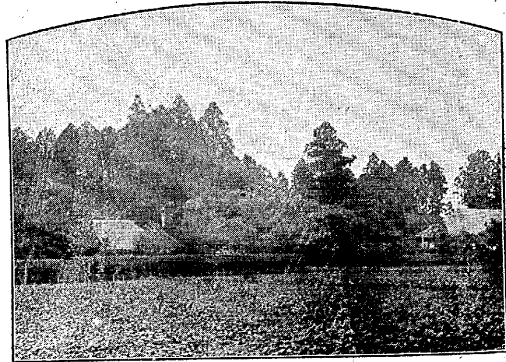
四十本乃至五十本の往年用材となるべきものを残し他は悉く伐採し其跡地には苗木を植付け第二回若くは第三回の伐期迄残存せしむるの方法を採り以て最も集約なる林業を経営せり、中仙道鐵道沿線なる桶川、鴻の巢附近の平地林にはこの作業法克く發達し赤松二段林の模範を示せり。『屋敷林』特種の森林にして平地の住宅に於ては其の周圍に多少の櫻、杉、檜等の樹木なきはなし、之れ本縣の地勢上より住宅の

防風用を主とし且つ一家の風致及基本財産造成をも加味せるものにして平地林と相待ちて本縣下の平地地に於ける唯一の



鉢形村有林

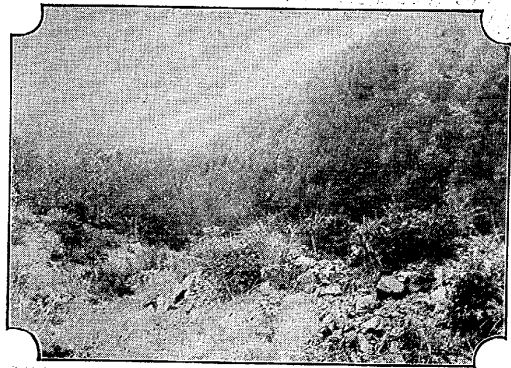
森林美を發揮せるものと云ふべく加ふるに山水の美に乏しき結果荒涼に陥り易き平原地方の風致を維持すると同時に人心の慰安上其効果著しく從て之れが改善維持は最も重要なものなり。



屋敷林

『鉢形村有林』大里郡の西部に位し荒川を隔て、上武線寄居驛の對岸に在り、從來同村は各部落割據の弊ありしが明治四十三年中同村民は村の自治上基本財産造成の必要を認め各部落有林野面積八十四町歩を村基本財産に編入して造林經營をなし村民協力之れが保護撫育に努めつゝあり。

『植樹獎勵の効果』明治二十八年より秩父、兒玉、比企、入間の各郡に苗圃を設置して杉、扁柏等の樹苗を養成し樹苗の無代配付をなして利根、荒川の水源地に屬する林野の改善維持に努む而して公共團體、社寺、個人にして無代下附を請求したる樹苗は二百七十萬本に達し今日に於ては各地共に完全



兒玉郡秋平村有林

なる林相を呈し大なる財源となりたり、又四十年度よりは工藝船艦及軍用車輛等に使用せらるゝ櫻、檜、栗等本縣の風土に適するものを獎勵

しつゝあり。



入間郡精明村地方の天然生扁柏苗木發生の状況

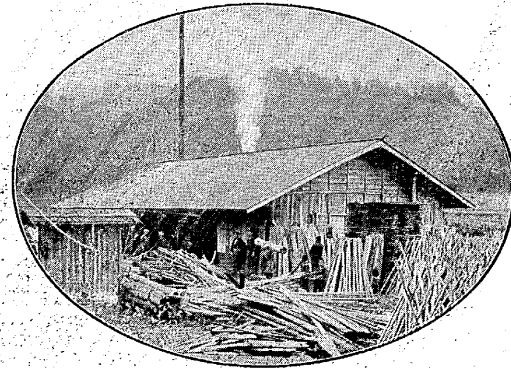
『精明村の樹苗』入間郡精明村地方一帯の丘陵起伏して赤松林各處に散在せるがこの松林中に扁柏ヒノキの天然木點生し毎年秋季結實の際多數の種子林内に落下するが爲翌春に至り夥しき扁柏の天然生稚苗發生するものを、同地方の住民採取して、苗圃に移植し培養して之を各地に販賣せ

り斯の如き樹苗の養成法は殆んど他地方に見ること能はずかくて其の樹苗最も健全にして一ヶ年の産額は山林用苗木として六十萬本に達せり。



醋酸石灰製造の状況

『平村の製材業』
比企郡平村地方は秩父郡に接近し民有林の發達せる處なるが同地の有志者相謀り、水力を利用して製材工場を設け板戸及障子等の製造



平村の製材實況

を開始し既に今日に於ては一ヶ年の産額貳萬餘圓に達し同村の特産物として遠く他府縣に輸出するに至れり。
『大瀧村の醋酸石灰』秩父郡大瀧村大血川地方は木炭の製造業盛んなるが今より十年前よりこれが副産たる醋酸石灰の製造を開始し既に確實有利なる事業として經營せられつゝあり而して醋酸石灰は各種の化學工業藥品の原料として現今其需用頓に増加し供給不足の状態にあり、

商業

本縣は由來中央市場に接近するを以て他の府縣に比し商業取引上特別の發達を見ること難きが如し然れども縣内に於て産する物産の價額は壹億圓に近からんとし之が輸出及移出並に管外より輸入品の價額參千萬圓に對する各種商品の取引商業並一般産業の施設經營に

關係する商業は敢て他に譲らざるものあり。

一、金 融

商工業農蠶業其他各種産業に要する資金の供給は之を大別して二

となす、一は經營家自身の出資に係るものにして他は金融機關に依りて供給せらるゝものとす、而してこの金融機關を更に銀行、信用組合、其他の機關に別つて説述すべし。



行銀工農玉埼

『銀行』

銀行は農工銀行一、普通銀行三十四、貯蓄銀行十二、普通及貯蓄を併はせ營むもの十二、合計五十七あり、尙其他東京市の大銀行にして支店出

張所等を設くるもの多數あり、縣内銀行の總資本金は八百八十餘萬圓、拂込濟資本金預金積立金等を合したる運轉資金は約四千餘萬圓なり、然れども之れを以て本縣産業上に放資せらるゝ資金の全體なりと見る能はざるは大事業家有力なる商人等は資金を中央の大銀行に仰ぐもの少なからざればなり、唯五十七の小銀行及之が支店出張所等は其頒布各地に行き渡りて營業者の便益を圖るに努む、今本縣内にある銀行本店を記さば左の如し。

銀行名	所在地	營業ノ種類
株式會社埼玉農工銀行	北足郡浦和町	農工
株式會社埼玉貯蓄銀行	兒玉郡本庄町	貯蓄
株式會社熊谷貯蓄銀行	大里郡熊谷町	貯蓄
株式會社明治貯蓄銀行	南埼玉郡粕壁町	貯蓄
株式會社川越貯蓄銀行	入間郡川越町	貯蓄
株式會社大宮貯蓄銀行	秩父郡大宮町	貯蓄
株式會社加須銀行	北埼玉郡加須町	普通、貯蓄

株式會社寶珠花銀行	北葛飾郡寶珠花村	普通
株式會社橋本銀行	入間郡南古谷村	普通
株式會社埼玉實業銀行	大里郡熊谷町	普通
株式會社共榮銀行	北足立郡植水村	普通
株式會社深谷商業銀行	大里郡深谷町	普通
株式會社飯能銀行	入間郡飯能町	普通
合名會社鈴木銀行	南埼玉郡越ヶ谷町	普通
合資會社丸保銀行	兒玉郡兒玉町	普通
合資會社鴻巣銀行	北足立郡鴻巣町	普通

以上各本店の外縣内に支店出張所等を設くるもの左の如し。

入間銀行	飯能支店	第八十五銀行	大宮支店
本庄商業銀行	兒玉支店	第八十五銀行	熊谷支店
大宮商業銀行	興野支店	第八十五銀行	志木支店
大宮商業銀行	蕨支店	第八十五銀行	本庄支店
扇町屋銀行	坂戸支店	第八十五銀行	松山支店
川越商業銀行	入間川支店	第八十五銀行	鳩ヶ谷支店
粕壁銀行	幸手支店	黒須銀行	川越支店
武藏松山銀行	玉川支店	栗橋銀行	加須支店

加須銀行	久喜支店	日進銀行	越ヶ谷支店(東京)
熊谷銀行	妻沼支店	第三十六銀行	飯能支店(東京)
久喜銀行	幸手支店	中井銀行	粕壁支店(東京)
丸保銀行	金崎支店	中井銀行	岩槻支店(東京)
深谷商業銀行	妻沼支店	中井銀行	忍支店(東京)
武毛銀行	皆野支店	中井銀行	浦和支店(東京)
明治貯蓄銀行	大宮支店	中井銀行	杉戸支店(東京)
明治貯蓄銀行	岩槻支店	日出銀行	大宮支店(東京)
忍貯蓄銀行	羽生支店	日出銀行	上尾支店(東京)
水川貯蓄銀行	越ヶ谷支店	忍商業銀行	行吹上出張所

『信用組合』

産業上の金融機關として信用組合亦其一に數へざるべからず、最近に於ける信用組合及信用事業兼營組合は總數二百九十にして出資拂込濟額貯金積立金等を合したる運轉資金は約百參拾萬圓、最近の調査に係る貸付金は約百萬圓に達せり、信用組合の供給する資金は主として農業資金にして蠶業資金に次ぎ商工業資金に至りては未だ大なる

る融通をなすに至らずと雖も、農蠶業資金にありては中産以下の者に専ら融通するを以て金額の尠少なる割合に其の効果大なるものあり。

『其他の機關』

銀行信用組合以外に近年勃興したる貯蓄會社金融會社等あり、之等の機關が金融上の適否は暫く置いて問はず、他に無盡講貯蓄組合等の團體も尠からざれば産業資金の供給上幾分の効果あるは又認めざるべからず。

六四



有限責任村平信用組合の實況

二、取引

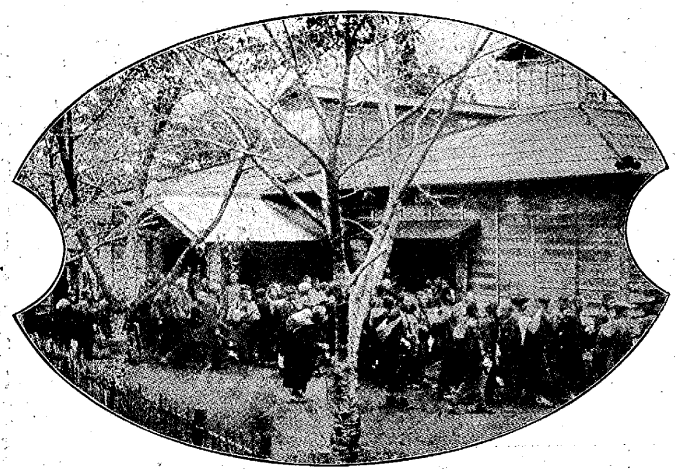
縣内の生産物にして自家消費と輸出又は移出すべき物とを不問又

他より輸入又は移入すべき物品の賣買取引に就ては各地に於て隨意に行はるゝもの多く尤も中には所謂「市場」を常設したるものあり、又桑葉生繭蔬菜等の如きに至りては季節に限り市場を開設することなきにあらず以下項を別つて述べんとす。

『市場』

縣内に於て「市場」と稱するもの總數三十七あり、今取引せらるゝ物の種類に依りて區別するときは蔬菜果實類十八、織物類三、繭絲

六五



越生生絹市場の實況

五、桑葉八、穀物七にして中に就き稍取引状態の見るに足るべきものを左に紹介すべし

『越生生絹市場』

入間郡越生町にあり毎月二七の日を以て地方より産する生絹を取引す、同町は入間郡の西部山麓の小市街なれども毎戸機杼の聲絶えず、川越町より約五里俾馬車の便あり。

『川越織物市場』

入間郡川越町にあり毎月五、十の日を以て市日とし地方より産する双子絹綿交織等の織物の取引盛んなり、電車川越停車場より數町の所にあり。

『市』

市は各地樞要の町村に於て毎月數回開催せらる、今各地の「市日」と其の取引品の主なるものを掲ぐれば左の如し。

郡町村	市日	主なる取引品	郡町村	市日	主なる取引品
北足立郡 浦和町	二、七	穀物、土物類、織物	比企郡 松山町	五、十	穀物、生糸、繭、材木、戸障
全郡 志木郡	二、七	穀物、織物、雜貨	全郡 小川町	一、六	穀物、甘藷、生糸、織物、生絹、紙
全郡 鴻巣町	四、九	織物、穀物	全郡 玉川村	三、八	織物(生絹)
全郡 鳩ヶ谷町	三、八	穀物、織物	秩父郡 大宮町	一、六	生糸、織物(秩父銘仙太織)
全郡 蕨町	四、九	織物	全郡 小鹿野町	五、十	繭、生糸、織物(秩父銘仙、生絹)、木炭
全郡 川口町	五、十	古着、古道具	全郡 野上村	二、七	屑糸、繭
全郡 與野町	四、九	穀物	全郡 皆野村	四、九	生糸、繭、織物(生絹)
全郡 大宮町	四、九	織物、穀物、甘藷	全郡 下吉田村	三、八	生糸、繭、楮、木炭
全郡 桶川町	三、八	土物類	兒玉郡 本庄町	二、七	生絹、生糸、眞綿
全郡 草加町	五、十	苗木、芋種(季節に限り開かざる、こあり)	全郡 兒玉町	三、八	生絹、生糸
入間郡 川越町	三、六、九	穀物類、織物(双子)	大里郡 熊谷町	二、七	穀物、織物(生絹)
全郡 越生町	二、七	織物(生絹)	全郡 深谷町	五、十	穀物、織物(生絹)
全郡 坂戸町	三、八	穀物、甘藷、茶、生絲、織物	全郡 寄居町	四、九	穀物
全郡 飯能町	六、十	(銘仙、斜子、生絹)	北埼玉郡 忍町	一、六	穀物、織物(青綿)、足袋
全郡 豐岡町	三、八	繭、生絲	全郡 羽生町	四、九	穀物、織物(青綿)
全郡 毛呂村	四、九	穀物、織物(生絹)	全郡 加須町	五、十	穀物、織物(青綿)
全郡 所澤町	三、八	茶、織物(絹綿交織)、木綿	全郡 騎西町	三、八	織物(青綿、白木綿)
全郡 入間川町	一、五	穀物、生糸	南埼玉郡 槻町	一、六	穀物、織物(木綿物)、雜貨

南埼玉郡 粕壁町	四、九	穀菽	北葛飾郡 栗橋町	一、六	穀物
全郡越谷町	二、七	穀菽	全郡幸手町	二、七	穀物、織物、(白木綿)土物、 荒物、古物
全郡久喜町	三、八	穀菽、織物、(白木綿)	全郡吉川村	一、六	穀物、繩、 荒物、古物
北葛飾郡 杉戸町	五、十	穀物			

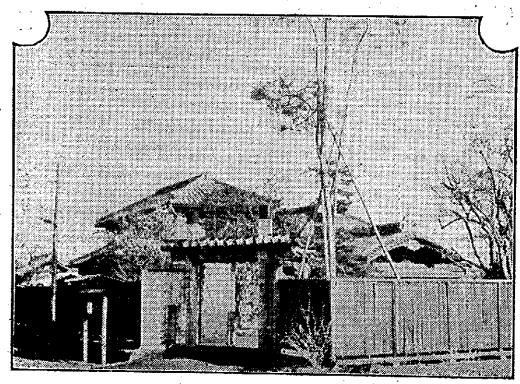
六八

本表の外年數回又は或る季節に限り市を開く町村あれども之を畧す。

三、商業上の諸機關

『川越商業會議所』

明治三十三年四月の設立に係り川越町に於ける商工業に關する諸般の調査等を爲すの外所定の業務を執行せり、川越會館内に事務所を置く、電車停留場より數町の間にある。



川越商業會議所

『商工會』

縣下を通じて十數ヶ所の設立ありと雖未だ目醒ましき活動をなすもの多からず、幸手商工會は稍視るに足るべきか、東北本線久喜驛より一里俾馬車の便あり。

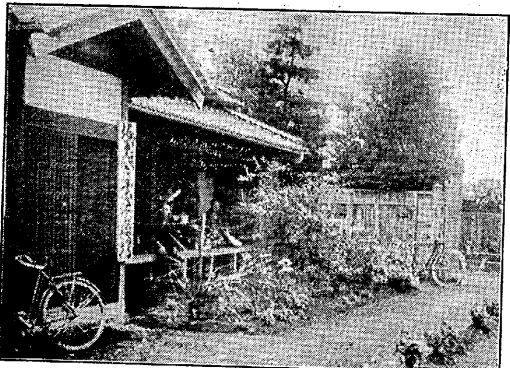
工業

工業の重なるものを舉れば織物、生絲、足袋、酒醬油、眞田編物、味噌、油、製粉、鐵線、鑄物、製紙、煉瓦、家具等となす、是等の工業組織は少數の工場を除くの外は概して家内工業にして、殊に織物の如きは、副業者の賃織に成るもの多し、而かも機語輪聲到處に聞えざるなし、以て機業生絲の隆昌を卜知するに足らん。

一、染織工業

『双子』……附其他の雜織物

双子は、北足立郡の南部及入間郡東部の村落より産出するものにして、所謂東京双子「是れなり」關西及東北地方に販路を有す、其他セル地、縮類、綿海氣、裏地、男女帶地、綿ネル、コール天、タオル等の織物一として産出せられざるはなく、其價額五百萬圓に達す。埼玉織物同業組合は北足立入間兩郡の一部を地區として設立せられ、専ら當業者の指導誘液に努む、事務所は浦和町調宮公園の北方に置く、停車場より三丁餘の間とす。



所務事合組業瓦物織玉埼

取引開市地名
主なる工場名

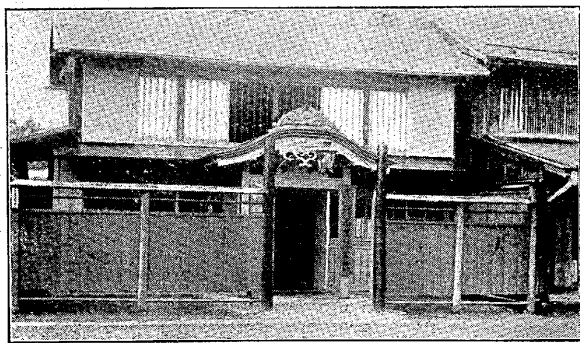
- 大宮町、浦和町、蕨町、鳩ヶ谷町、川越町、
- 北足立郡川口町 増田 作藏工場
- 同郡植水村 島田保太郎工場
- 同郡六辻村 細淵萬次郎工場
- 同郡芝村 平田劔次郎工場

主なる買繼商

- 入間郡川越町 高橋 幸助工場
- 入間郡福岡村 小坂部興助工場
- 北足立郡蕨町 徳丸龜太郎商店
- 同郡浦和町 星野 紋藏商店
- 北足立郡大宮町 青木 伊平商店
- 入間郡川越町 合資會社高山商店
- 同町 市川善兵衛工場
- 同郡鳩ヶ谷町 保坂 善八商店

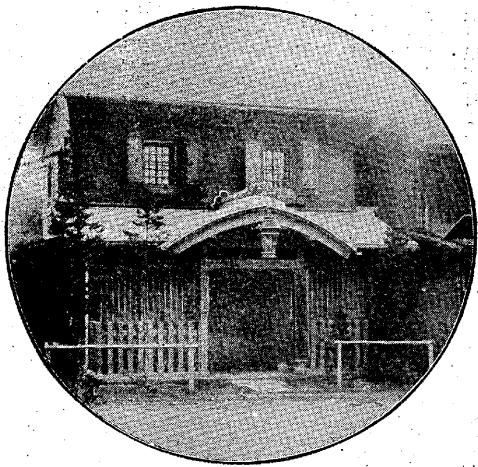
『武藏飛白』

入間郡の南部所澤町を中心として附近の數ヶ村及東京府下の之に接近せる地方より産出するものにして一名「村山緋」と云ふ取引は所澤町に於て行はる産額七十萬反價額九十餘萬圓あり、武藏飛白同業組合は所澤町に在り、停車場より五町餘武藏織物同業組合と相對して事務所を當地に置き組合員の指導奨勵に努む、組合は更に組



所務事合組業同飛白藏武

合員に諭して有限責任好藍會購買販賣組合を組織せしめ織物原料の買入に従事し早晚製品の共同販賣を實行せんとす。



所務事合組業同物織藏武

取引開市地名 所澤町
主なる工場名(製造者)入間郡松井村鈴木金之助

- 同郡所澤町 原島アノ
- 同郡小手指村 北田仲次郎
- 同郡吾妻村 平塚仁十郎
- 同郡小手指村 小達福藏
- 同郡吾妻村 平塚傳次郎
- 東京府下中摩村 野基一
- 同郡窪村 中村徳次郎
- 同村 尾又鷲太郎
- 入間郡狹山村 關田勇次郎
- 同郡小平次 向山小平次

主なる買繼商 所澤町

『所澤の交織』

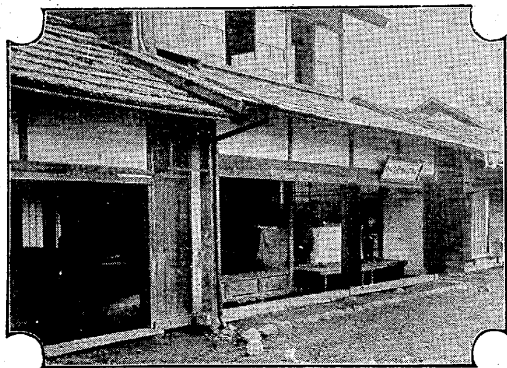
入間郡所澤町附近より産出する絹綿交織は俗に「所澤の交織」と稱し需用廣し關東東北關西に販路を有し産額千五百萬反この價格二百萬圓に達す。武藏織物同業組合は所

澤町に武藏飛白同業組合と相對して事務所を設け組合員の技術の啓發と商取引の擴張に努む。

- | | |
|--------|---|
| 取引開市地名 | 所澤町、川越町 |
| 主なる工場名 | 兒島又五郎工場
中里 八藏工場
飯能町 兼吉工場
元加治村 平岡 甚藏工場
同村 内田 鷹治工場
入間川町 向山 商店
所澤町 |
| 主なる買繼商 | |

『飯能銘仙』

入間郡の西部飯能町を中心として附近一帶の地方より産するもの所謂飯能銘仙にして秩父銘仙と並び稱せらる、近年著しく進歩せり東京、京阪、九州地方に得意を有す、年産額四萬三千匹、この價額三十二萬六千圓に達す、武藏絹



所務事合組業同物織絹藏武

織物同業組合の組織せらるゝありて技術家を聘して染織の試験を行ひ又は共同染工場を起して組合員をして實費を以て染物の委託に應ず、川越鐵道入間川驛より二里二十餘町俣馬車鐵道の便あり。

取引開市地名

飯能町

主なる工場名

飯能町

主なる買總商

飯能町

宮岡 啓藏工場

平沼 伊兵衛

雨宮 清三郎

大野 佐十郎

『斜子』

斜子は所謂「飯能なゝ子」と稱せらるるものにして、價額の低廉なるに不拘地質堅牢しかも體裁優美にしてよく紳士の衣服に適す、産額貳萬貳千五百匹この價額參拾萬四千圓に上る、武藏絹織物同業組合の主管に屬す。

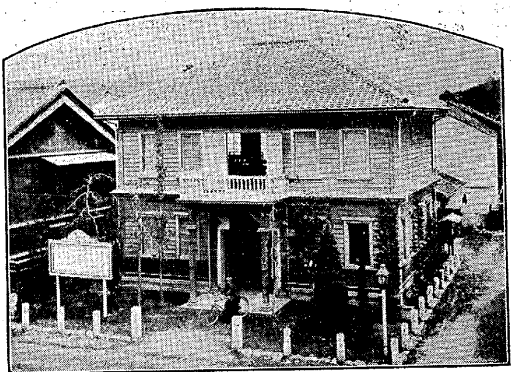
主なる工場名

大家村

武藏彦太郎工場

『秩父銘仙』

古來秩父郡一帶より産出する織物を「ちゝぶ縞」と稱す、而して地質堅



秩父絹織物同業組合事務所

牢を以て名あり、即今の「秩父銘仙」是なり、伊勢崎銘仙と並び稱せらる、地質の堅牢にして價額の廉なるは其大特色なり、故に需要盛にして販路は關東、東北、京阪、九州、北陸に及び、秩父絹織物同業組合は上武鐵道の終點秩父驛(國神村)より三里、織物の中心市場たる大宮郷に設置せらる、技術員を置き染織試験場、織物陳列場等を經營して組合員製品の改良と販路の擴張に努め、又織物整理工場の設備、染織學生の派遣等をなす、殊に本組合の特色とも稱すべきは組合員の製品に付毎反検査を行ひ其責任を明せるにあり。

取引開市地名

大宮町、小鹿野町

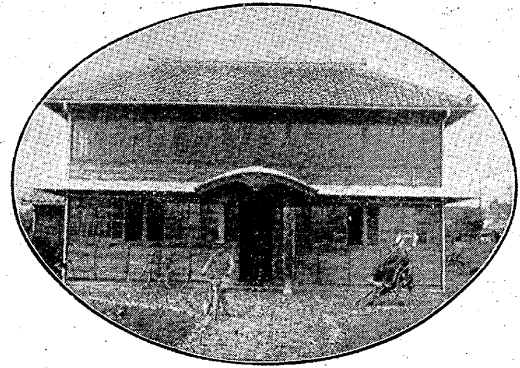
主なる工場名

主なる買継者

高篠村 丸上 荒船工場
 同村 赤岩 工場
 高篠村 内幸 工場
 大宮町 柿原 商店
 山鹿野町 村上 商店

『生絹』

入間郡の西北隅越生町、及毛呂村近傍比企郡の西部小川町地方より産出す、前者は俗に「越生絹」と稱し古來より織に製し後者は「小川絹」と稱せられ近年著しく産額の増加を來せり、武藏本場絹織物同業組合は小川町に事務所を置く、最近生絹の加工を必要となし組合に於て試験場を設備して染色術の研究に著手せり。



武州本場絹織物同業組合事務所

横瀬村 町七十工場
 同村 坂善 工場
 同町 大森 商店

同所は中仙道熊谷驛より四里半俵馬車の便あり、生絹は以上の外大里郡の西部より産するものあり、何れも裏地として東京及京阪に搬出せらる、各地を合して年産額約六十三萬反この價額約百拾五萬圓に達す。

取引開市地名

飯能町、毛呂村、越生町、小川町、寄居町、深谷町、熊谷町

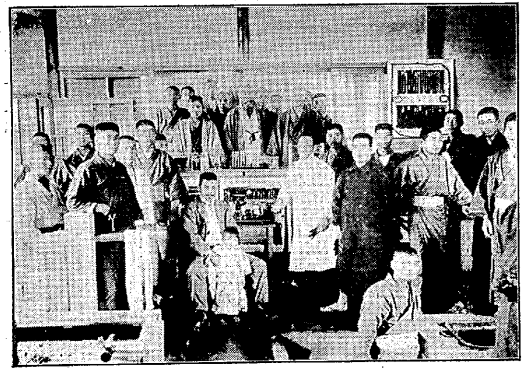
主なる工場名

比企郡福田村 柳 工場
 同郡高坂村 大澤 工場
 同郡宮前村 島田 工場
 同郡高坂村 江原 工場
 入間郡毛呂村 龜井 工場
 同郡入西村 山崎 工場
 同郡高麗村 關口 工場
 比企郡小川町 柿原 商店
 同町 合名會社松本商店
 入間郡越生町 大森 支店
 同町 長島 文吉商店

主なる買継商

『本場青絹』

北埼玉郡東武線の沿道殊に加須羽生



埼玉織物産物同業組合染織色講習の状況

兩町及忍町地方より産出するものは所謂本場青縞と稱せられ最良の紺地なり、足袋又は農民職工等の着用する腹掛股引地等に適す、世に本場青縞と云ふものは是なり、販路は東京及東北地方を最とし、産額百二十萬反價額百六拾萬圓に達す、埼玉織物産盛同業組合ありて製品の改良に意を注ぎ染織講習所を設立せり、同組合事務所は東武線の加須町にありて停車場を距る數町なり。

- 取引開市地名 加須町、羽生町、忍町
- 主なる工場名 北埼玉郡岩瀬村 中島 仁助工場 同郡三田ヶ谷村 赤阪富士右衛門工場
 同郡不動岡村 岡安仁三郎工場 同郡禮羽村 岡安清三郎工場
 同郡植遺川村 田中 善吉工場
 北埼玉郡羽生町 小島 完吉 同郡忍町 橋本喜助
 同郡加須町 齋藤合名會社
- 主なる買繼者

『白木綿』

南埼玉郡久喜町を中心とせる附近一帯の地及び之に隣接せる北足立、北葛飾の一部は白木綿の産地なり、産額百八十六萬反價額百萬圓に

達す、埼玉木綿織物同業組合は東北本線と東武線の交叉點にして交通の利を得たる久喜町に事務所を置きて鋭意改善指導に盡瘁す。

- 取引開市地名 久喜町、幸手町、岩槻町
- 主なる工場名 久喜町 埼玉製布株式會社 北足立郡中丸村 下村合名會社工業部
 同郡桶川町 松盛製布工場
 久喜町 山林 藤吉 岩槻町 金子 芳藏
 同町 川島竹次郎 南埼玉郡慈惠寺村 新井 長左衛門
 同郡篠津村 大橋 孫右衛門 北足立郡原市町 三角松次郎
 同郡小針村 小林 榮藏
- 主なる買繼商

『蚊帳とガーゼ』

埼玉木綿織物同業組合地區内より産する木綿蚊帳は好況にして産額三十五萬反此の價額拾七萬餘圓あり、又近年同地よりガーゼを産す、四萬反此の價額拾貳萬圓ありて將來有望なりと云ふべし。

二、雜工業

『足袋』

足袋は縣下各地とも多少の産出なきに非ずと雖、北埼玉郡忍町は最熾盛を極む所謂「行田足袋」と稱せらるゝものにして、汎く世人の知る處たり、主なる需要地は東京及東北諸縣なりとす、而して近年其の製造方法に改良を加へ機械力を應用して顧客の好に應ず、製造高頓に増加し最近の産額百五十萬足この價額三百萬圓に達す、埼玉足袋同業組合ありて當業者の指導奨励に努む、親しく行田



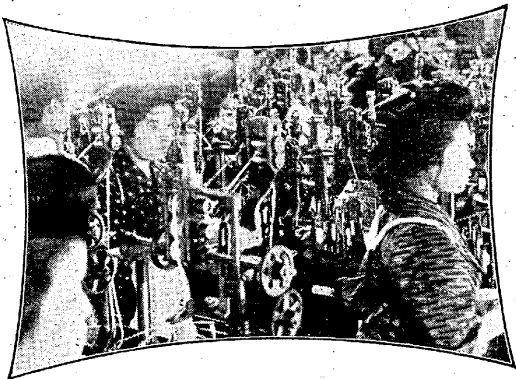
忍町に於ける足袋舗の實況

足袋の製況を訪はんとせば中仙道線吹上驛より里餘俣馬鐵の便あり。

取引開市地名	忍町
主なる工場名	橋本工場 川島工場 今泉工場 奥富工場 西原工場 大澤専藏 安田利兵衛 保泉近藏
主なる買繼者	忍町 全町 全町

『真田類』

經木麥程馬尼刺麻等各種の真田は南埼玉郡粕壁町を以て之が取引市場とす、麥程真田と經木真田とは産額減少して其の價額は十七萬圓内外に過ぎず、然れども近年歐米に於て流行を極むる馬尼刺麻真田の需要増加



南埼玉郡粕壁町島村工場に於ける真田製造の實況

したるを以て之が製造に轉じたる者多し、本業は稍規模の大なる工場組織によるもの十數ヶ所の多きに及ぶ其の据付機臺數約一千臺此の一ヶ年の生産高八十萬反價額三十二萬圓を下らず、而して婦女子の内職麻糸繫ぎに至りては之に従事する者頗る多し粕壁町に埼玉眞田同業組合ありて當業者の指導に努む。

取引開市地名

粕壁町

主なる工場名

- 南埼玉郡粕壁町 島村 平藏工場 全郡富浦町 杉山美之助工場
- 北足立郡柳川町 山崎 工場 全町 市川 工場
- 南埼玉郡粕壁町 島村 平藏 全町 高橋 駒男
- 全町 小川 吉太 全町 赤沼茂十郎
- 小早川正吉
- 櫻井村

「酒類」

酒類醸造業は近年著しく發達し大正元年の造石高清酒七萬六千七百餘石價額三百二十八萬餘圓又濁酒焼酎直耐味淋を合して二千九百八十九石餘價額十七萬五千圓に達す、販路は東京群馬千葉栃木及縣内

各地とす、埼玉縣内酒造組合は北足立郡志木町にあり浦和線より約二里半俵馬車の便あり又組合は各郡に支部を置き當業者を指導啓發し屢々清酒品評會を開催し既に二十一回に及び又大里兒玉兩支部が大里郡玉井村(中仙道 籠原驛)に熊谷清酒醸造試験場を設置して醸造法の改善を圖るや組合は補助金を交付して大に其の擧を翼賛し只管當業者の獎勵に努む。

主なる醸造家

- | | | |
|--------|---------|-----------|
| 花 姿 | 北足立郡志木町 | 西山 鐵五郎 |
| 壽 龜 | 全郡上尾町 | 北 西 龜 吉 |
| ウツマキ正宗 | 全郡馬室村 | 玉 井 利 吉 |
| 花王正宗 | 入間郡川越町 | 名 坂 喜 兵 衛 |
| 喜代川 | 全郡霞ヶ關村 | 小 林 善 吉 |
| 琵琶湖 | 全郡入間川町 | 小 林 善 吉 |
| 鳴の海 | 全郡全町 | 波 邊 走 馬 |
| 吟雪 | 比丘郡松山町 | 小 林 太 一 郎 |
| 敷島 | 全郡野本村 | 利 根 川 惣 三 |
| 惣一 | 秩父郡大宮町 | 合資會社 矢尾商店 |
| 花陽 | 全郡全町 | 長 谷 川 金 吉 |
| 柳川 | | |

千歳	秩父郡下吉田村	肥土晴三郎
新本	兒玉郡兒玉町	久田合名會社
清正	大里郡熊谷町	鈴木忠右衛門
虎の巻	全郡寄居町	藤崎惣兵衛
花遊	全郡玉井村	清水新吉
雲龍	北埼玉郡忍町	鈴木忠右衛門
日本橋	全郡長野村	横田庄右衛門
力士	全郡騎西町	小林久左衛門
寒梅	南埼玉郡久喜町	鈴木仙右衛門
幸松	北葛飾郡幸松村	田中源太郎
清海	全郡上高野村	竹内増兵衛

『醬油』

醬油は最近一ヶ年の醸造石高は營業品三萬九千餘石之に自家用を加ふるときは四萬五千石此の價額百萬圓に達す今一ヶ年二千五百石以上の醸造家を擧ぐれば左の如し、

北葛飾郡松伏領村	石川仁平次
全郡彦成村	堀切伊兵衛
入間郡豐岡町	繁田武平

全郡南古谷村 橋本三九郎

『味噌』……附漬物類

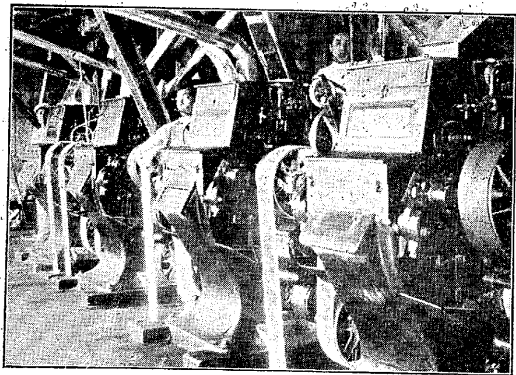
北足立郡南平柳村は味噌の主産地なり東京市へ向け賣り出す高は約百萬貫此の價額八拾七萬圓に達す北足立比企入間南北埼玉郡の諸村より梅蔭薑、チヨロギの漬物類を産し東京へ輸送するもの日に多きを來せり。

『油類』

製油は胡麻油、菜種油、荏油等にして其主産地は岩槻附近等なり菜種油は需用の縮少に伴ひて産額減少したれども胡麻油は食用として漸次増加し又荏油は工業用として需用多きを加へ逐年産額増加し價額約參拾八萬圓に達す。

『製粉』

製粉は麥粉にして最近二ヶ年の産額百七十萬斤此の價額百拾餘萬



杉本製粉工場粉製の實況

圓に達す、而して製造は電力又は水車に依るものにして、夙に東京市場に於て名聲あるは「北口製粉」と唱へ、黒目川筋の北足立郡膝折村片山村多摩川筋の同郡大和田町内間木村志木町柳瀬川筋の入間郡柳瀬村等に於ける製粉是れなり、北足立郡膝折村に北口製粉業組合あり、中仙道浦和町より約四里俵の便あり、又中仙道線熊谷町には縣下唯一の松本製粉工場あり、同地停車場の東方に巍然として聳ゆる高層の洋館あるは即ち是なり。

『鍼線』

北足立郡膝折村に於て製粉業と共に黒目川の水流を應用して銅鐵

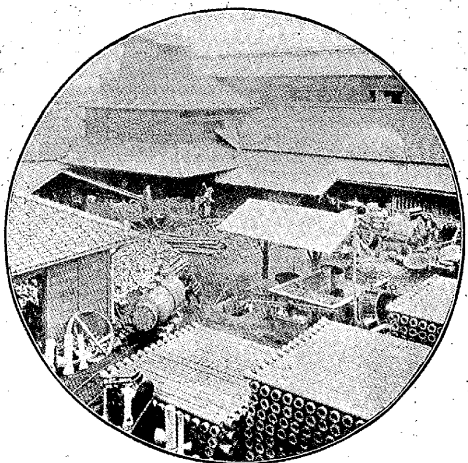
亞鉛等の線又は板を挽伸し、最近一ヶ年の製産價額約八拾萬圓に達す、製品は盡く東京市へ向け搬出せらる、同地は中仙道浦和町より約四里俵の便あり。

主なる工場名

- 奥住工場
- 徳生伸銅所
- 大畑伸銅所
- 油理伸銅所
- 鹽屋工業所

『鑄物』

鑄物の産地は北足立郡川口町、入間郡川越町、兒玉郡金屋村等とす、就中川口町には規模宏大なる工場尠からず所謂「川口の鑄物」と稱せらるゝものは、是なり、同地は水陸の便備はりて、工場の經營に適す、現今産出する處の物は鍋釜、鐵瓶、火鉢、五徳、風呂釜、ストーブ、鐵管、鐵柵、齒車



川口鑄物工場之景

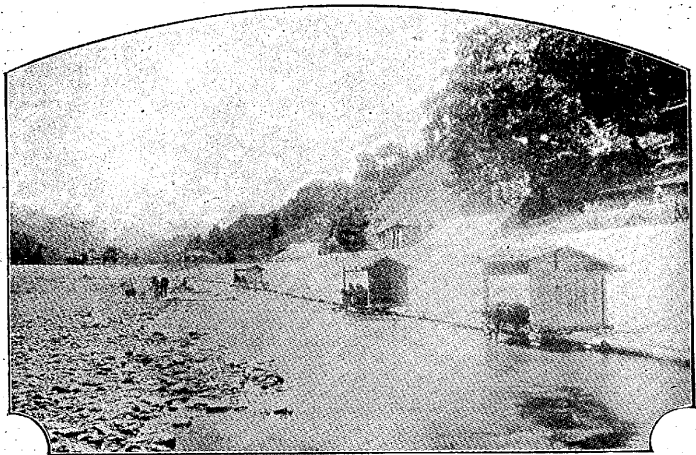
衝器附屬品其他各種の建築用鐵骨、勝手道具、室内用品等に至る迄産出せざるはなし、其の産額機械類に至りては價格の計算に苦むものなきにあらずれども總價格百萬圓を下らず、主なる需要地は東京市にして關西方面にも亦出荷あり、川口鑄物業組合ありて當業者の指導に努む事務所は驛より數町の間にあり。

主なる工場名

川口町	永瀬工場	名古屋工場
川越町	川口機械製作所	千葉工場
金屋村	矢澤鑄工場	小川鑄工場
	金屋鑄工場	

『製紙』

製紙は比企郡の西部小川町を中心として之に隣接せる秩父大里兩郡の數ヶ村より産出す、就中大河村小川町及秩父郡大河原村を以て最熾なりとす。此等の町村は概ね秩父連山の山麓にありて即笠峯より流出する槻川兜川等の諸川に沿ふ村落にして而も水源地の土質は何れ



小川町附近に於ける原紙楮皮洗滌の實況

も鑛物質を含有し自ら楮皮の洗滌に適す、現今産出する紙の種類は細川(帳面紙)棧留判(布包紙)半紙、美濃紙、西の内、仙花(油紙)長四分(障子)生綿包紙、塵細川、横口(砂糖袋類)大和(鼻折塵紙)與茂川(布包)黒川(全蠶卵臺紙)蠶兒掃立紙等なり、而して販路は東京市を最とし關東、東北、關西、山陰、山陽、四國、九州及び遠く滿韓臺灣にも輸出せられ其の産出價額約六拾萬圓に達す。埼玉縣小川製紙同業組合あり製紙講習を開催する等當業者の

指導に努む、事務所は小川町に在り中仙道線熊谷驛より四里半俾馬車の便あり。

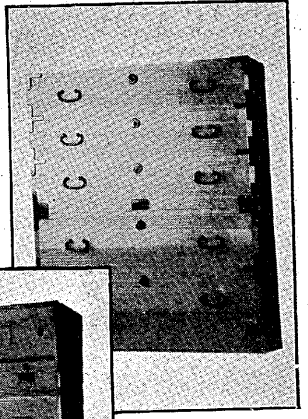
取引開市地名	小川町	概川蠶卵原紙合資會社	内野工場
主なる工場名	小川町 大河村	小林工場	
主なる買繼商	小川町	町田半次郎	細井長八 土谷平吉
		島田重太郎	田口圓次郎 梅澤惣兵衛

『煉瓦』…瓦

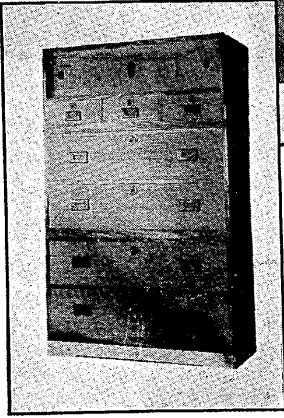
煉瓦の製造は大里、北足立、入間、兒玉、南埼玉等の諸郡に於て産出す。雖就中大里郡大寄村日本煉瓦製造株式會社を以て最とし殊に機械煉瓦、磨き煉瓦の如きは同會社の特色とする處なり、同社の製品は、東宮御所をはじめとして遞信省、司法省、日本銀行其他幾多の官衙會社等の大建築に使用せられて好評を博し、年生産價額約四拾五萬圓あり、又瓦は縣下各郡に於て産出す。雖大里郡深谷町附近最盛なり、全縣を通じて産出價額約貳拾七萬圓に達す。

『雛人形類』

雛人形の産地は北足立郡鴻巣町、南埼玉郡越ヶ谷町、岩槻町、入間郡所澤町、豊岡町等にして特に世に知らるゝは鴻巣町とす、同地の産出の雛人形は嘗て内國博覽會に出品して一等賞牌を授けられたるのみならず、畏くも雲上の御目に留まりたる旨其筋よりの通牒に接し、營業者は益感奮斯業の改良に従事したるに近くは、大正元年十月大演習に際し川越大本營に於て天覽に供し且献上を願出たるに御嘉納の光榮を荷ふ、雛人形の外玩物、破魔



埼玉縣産の籠筭 其の一



弓、幟等を産し價額六萬圓餘に達せり。

『桐細工』

鴻巣町附近、川越町、比企郡野本村、岩槻町、粕壁町附近は桐樹最よく生長す従つて桐材製品も亦重に同地方より

産す其主なるものは

箆筒の一ヶ年産額六

萬三千餘組價額四拾

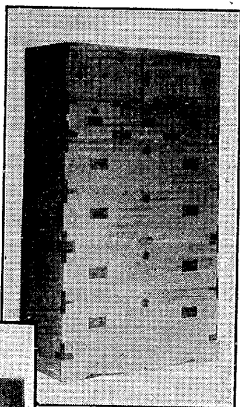
參萬圓、用箆筒、机、本箱其他の函類は箆筒製

造の餘業にして貳萬圓内外の産出價額あり、

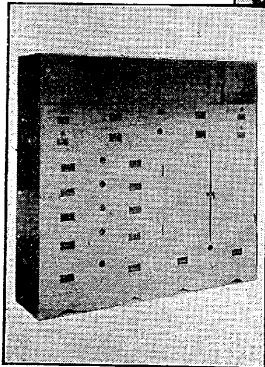
販路は東京市十中の七を占め他は近縣

及縣内とす埼玉箆筒商組合は最近の設立

なれども當業者唯一の團體なり浦和町に事務所を置く驛より三丁餘



埼玉縣産の箆筒 其の二



とす。

『衡器』

本縣に於ける衡器製作者は三名にして前年度の製作受檢數は十八萬三百八十七而して度量衡器の販賣業者は八十五名なり。

衡器製作者

浦和町

合資會社齋藤衡器製作所

川越町

渡邊政方

川口町

岩田武三郎

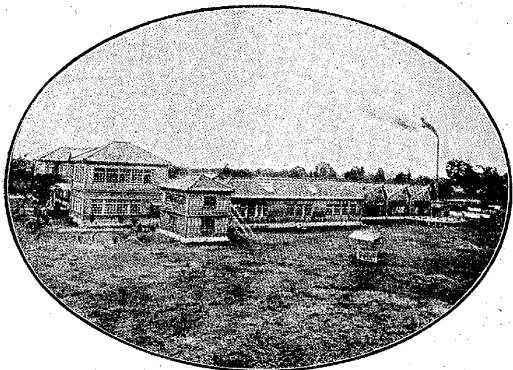
『菓子類』

(一)五嘉寶 大里郡熊谷町に於て産す。同驛賣子が「熊谷名物五嘉寶」と呼ばるゝは即之れなり。名物に甘い物なしとはよく聞くことなれども本品は眞に賞味するに價すべし。熊谷を訪はゞ土産として是非購はざるべからず。(二)甘藷煎餅 甘藷を原料として製造したるものにして川越町に於て産す。其他幸手の「鹽釜」「さゞれ石」は夙に人の知る所なり。

三、工業上の諸機關

九四

『縣立川越染織學校』



縣立川越染織學校

川越町字小仙波にあり明治四十年四月開校修業年限三箇年にして染織科、圖案科の二科に別つ、本校は所定の工業教育を施すの外本縣染織業者の指導に努む、實習工場の如きは染織及び機械の兩部に分ち工業試験場の設備を有し學生實習の外當業者の研究にも便ならしむ

『縣立圖案調製所』

明治四十三年四月川越染織學校内に設置し専任技師一名技手五名を主とし

て織物圖案を調製して當業者に配布し各地に圖案展覽會等を開催して當業者の指導に當らしむ

産業組合

本縣に於ける産業組合は明治三十四年二月入間郡元狹山村に有限責任元狹山信用組合比企郡大河村に有限責任大河信用組合の設立を以て嚆矢となす爾來年と共に其數を増し現に三百二十八組合の多きに達せり就中信用組合及信用兼營組合最多く購買組合及購買兼營組合之に亞ぐ最近に於て販賣組合も亦大に發達し製絲を販賣するもの多し今大正元年度の事業成績の梗概を述べれば出資總額約百萬圓總運轉資金即拂込濟出資金各種積立金貯金借入金其他を合して約百五拾萬圓なり信用組合の貸付金は百萬圓に近く貯金は五拾萬圓を降らず販賣組合は生絲の百貳拾萬圓を最多とし米麥織物其他を合して百五

九五

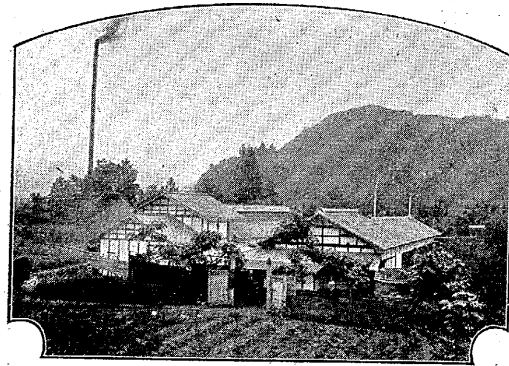


有限責任潮止信用購買組合事務所

拾萬圓を販賣せり、購買組合は肥料の貳拾萬圓を最とし米穀、織物、綿絲、其他日用品等を合して七拾

九六

萬圓を購買せり、殊に購買組合は四十四年以降肥料の共同配合を實行し今や其成績著々として顯はる。大正元年末迄組合が施行せしは三十三ヶ所約三十萬貫匁に達し

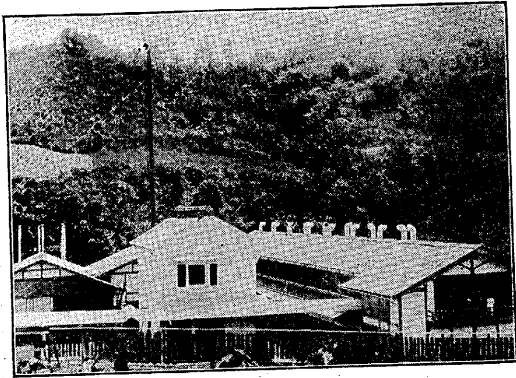


有限責任信用生產販賣組合水滸社荒川組

尙一時的團體が組合事業に做ふもの多きを加へたり生産組合としては記述すべきものなし終に縣下の組合にして産業組合中央會頭より表彰せられたるものを擧ぐれば即ち左

の如し。

有限責任信用販賣組合甘樂社藤澤組



- 有限責任石戸村信用購買販賣生産組合 北足立郡石戸村
 - 有限責任山田村信用購買組合 入間郡山田村
 - 有限責任平村信用組合 比企郡平村
 - 有限責任猪俣信用組合 兒玉郡大澤村
 - 有限責任中瀬信用購買販賣生産組合 大里郡中瀬村
 - 有限責任潮止信用購買組合 南埼玉郡潮止村
 - 有限責任彦成第一信用購買組合 北葛飾郡彦成村
- 産業組合の普及發達に與つて力あるは産業組合中央會埼玉支會となす、中央會が未だ法人たらざる以前より引續き存在して組合の指導獎勵に努む、現今主

なる事業は理事養成講習組合設立者實地指導組合設立勸誘講話實務

九七

附 錄 名 所 舊 跡

研究會帳簿用紙、事業報告用紙の配布、功勞者表彰會報の發行(毎月一回)
等主なるものなり。

官幣
大社 氷川神社

氷川公園

見沼の螢

中仙道線大宮線の東北約十一町

氷川神社は北足立郡大宮町にあり武藏一の宮にして武運の守護神素盞鳴尊を祀る社殿の後方一帯は所謂「氷川公園」にして丹波の美あらざるも清楚自ら雅致あり境内の廣さ約五萬坪、旗亭あり、運動場あり、松杉鬱蒼として天空を蔽ひ櫻柳相擁して池邊を繞るの邊、風光極めて幽邃なり、螢の名所見沼代用水は目睫の間にありて夏季涼風を逐ひ、流れに沿ふて逍遙せば涼味掬すべし。

讀人知らず

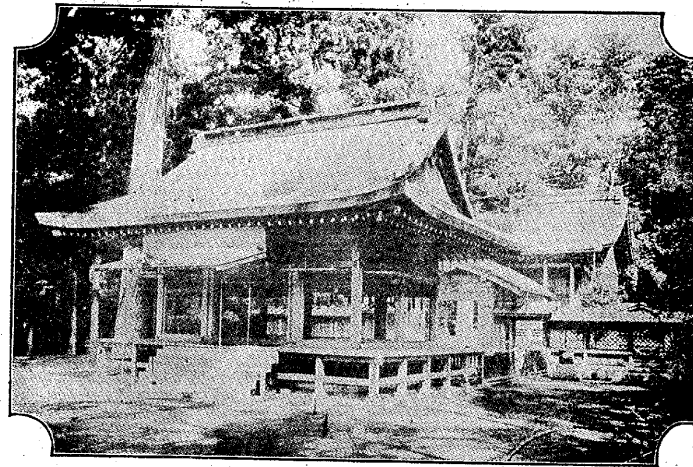
浦寒し月のひかりのさやけくて

氷川の原に水も流れず

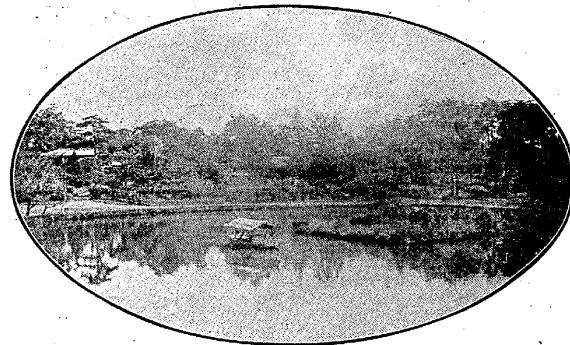
高崎 正風

天津とぶ氷川の神やまもるらむ

雨になるべき空のはれたる



官幣大社氷川神社の神殿



氷川公園の景

100

蒲 櫻

中仙道線柳川驛より約一里半の傾あり

北足立郡石戸村東光寺
境内にあり、櫻樹の株際には
數基の石片を胎して成
長し其の石片には梵字の
彫刻等を有するものあり、
蒲冠者範頼の植うる處な
りと傳ふ。

附言 同村には成績優
良なる有限責任石戸
村信用購買販賣生産
組合あり。

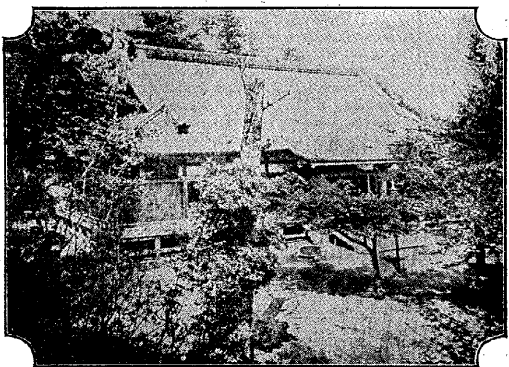


蒲 櫻

101

川越の喜多院

中仙道線大宮驛より約四里半電車の便あり



喜多院の風景

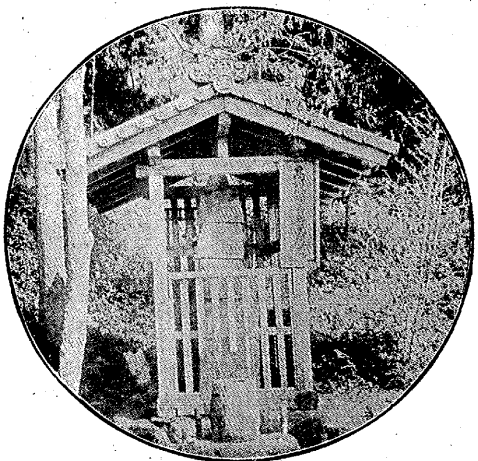
入間郡川越町字小仙波にあり、往時勅定に係る關東天臺の本山にして徳川三代將軍家光公の誕生せし江戸城内紅葉山の別殿を移して堂宇を建立したるものなり、又別に天海僧正の木像を安置す、境内には老杉亭々として天を摩するの邊櫻樹其間に點綴す、五百羅漢、多寶塔、三位稻荷祠堂ありて、萬朶錦雲に化して靈臺を擁するの光景、自ら樂土の感あらしむ寺寶には三代將軍の遺物あり。

高麗王若光の墓

川越鐵道入間川驛より

約二里半便の便あり

入間郡高麗村にあり、靈龜二年高麗人千七百九十人を武藏之國に移して高麗郡を置けりと、これ今の高麗村地方なり、王若光の墓と稱するは墓石六尺五寸餘、誌銘は壞滅して讀む能はず。

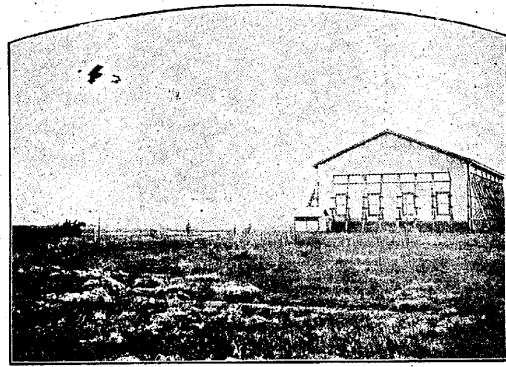


高麗王若光の墓

天覽山

川越鐵道入間川驛より三里半馬車鐵道の便あり

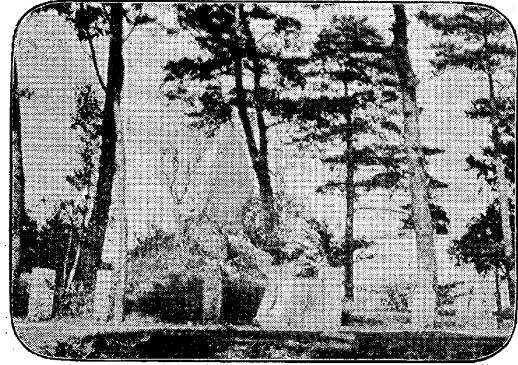
入間郡飯能町にあり、市街の北西數丁の處に凸起せる小丘即ち是れ



場所の飛行情場



高坂の岩殿觀音堂



天覽山上記念碑

事を記して之を不朽に傳ふ。

なり、老松蟠幅せる所十六羅漢の石像を安置す、里人羅漢山と呼ぶ、若夫山頂に立ちて四顧せむか峰巒の間を流るる名栗川の清流は眼下に滾々たり、田園樹林延亘幾十里其窮まる所を見ず、遙に眼を南西に轉せんか雲煙模糊の間に富士の白峰を望むべく、更に眼を東方に轉せんか、筑波の翠黛亦一眸の中に在り、明治十六年近衛師團の演習に際し、明治天皇陛下此に行幸あらせられ、親しく諸軍を統監あらせらる、故に天覽山の稱是れより生まれり、頂上碑あり、行幸の盛

所澤飛行試驗場

川越鐵道所澤驛より東北約三町

入間郡所澤町にあり、平衍二十三萬坪を相して陸軍飛行試驗場を設けらる。之れ本邦に於ける飛行試驗場設置の嚆矢なりとす。曉靄纔に收まりて松林模糊遙に一線を半空に描くの時巨鵬翼を張りて中天に飛揚するを見る壯觀喩ふるにものなし。

高坂の岩殿觀音

中仙道線鴻巣驛より松山町を経て約四里半俵の便あり

比企郡高坂村にあり、岩殿觀音の名夙に世に著はる。阪東十番の札所にして養老年間僧逸海の建立せし遺跡なり、春季境内は百花艶を競ひ殊に躑躅の見るべきものあれば參詣常に絶えず。

後の世の道を比企みの觀世音

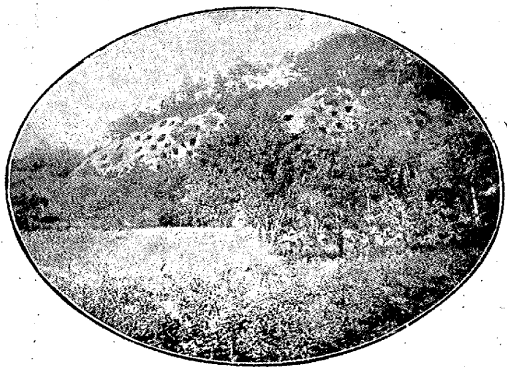
此をおともにたすけたまへや

吉見の百穴

……岩窟ホテル高壯館

中仙道線鴻巣驛より約二里俵馬車の便あり

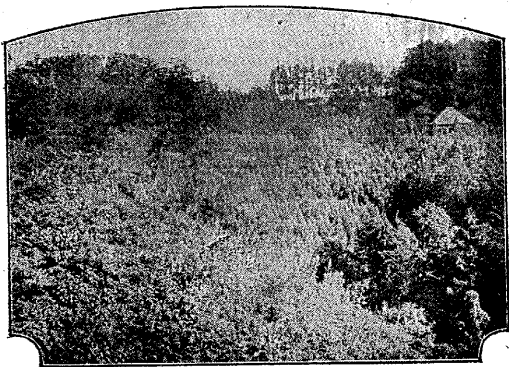
比企郡西吉見村にあり、穴窟二百有餘之を遠望すれば宛然蜂巢の如く寔に奇觀なり、是即穴居時代の遺蹟なりと云ひ或は上古屍を斂めたる壙穴なりと知らず何れが眞なるやを正に考古家の一顧に値すべし、百穴と並びて松山城趾の絶壁に掘鑿せるものを岩窟ホテル高壯館と稱す、高橋峰吉氏の企つる處著手以來茲に二十餘、星霜猶豫定の如く竣工せしむるには百三十年を要すといふ事業の成否は吾人間はずと雖亦一の奇觀となすに足るべし。



吉見百穴の趾

平の慈光寺

中仙道線鴻巣線より松山町を経て約七里半の便あり



慈光寺の全景

比企郡平府にあり、稀有の靈場にして其由緒も決して空漠たる口碑の傳に非らず、白鳳二年南都興福寺慈訓和尚の開基にして千手觀音を奠る、阪東九番の札所とす。又清和の朝貞觀十三年三月良岑朝臣に勅して紺地金泥の法華經を納め給ふ、又上野國權大目安部朝臣に勅して大般若經を納めしむ、境内鐘樓あり重量一千二百片、唐の妙空に諮りて鑄造せしものなりと、曩に經卷と鐘は國寶に指定せらる。境内幽邃納涼の地に適す。

さくからにたいし大悲のちくいふ寺

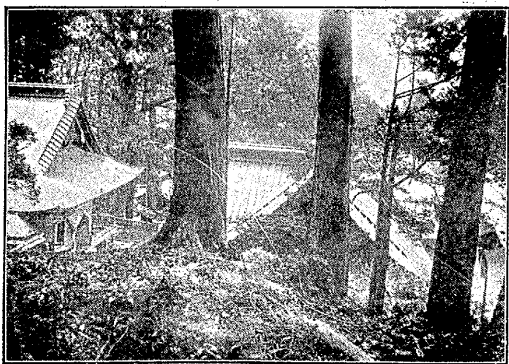
ちかひもと母に布閑起いは殿

(坂東九番慈光寺觀音の詠歌)

縣三峯神社

上武鐵道秩父驛より大宮町を経て約八里半途中五里半の處迄俣馬車の便あり

秩父郡大瀧村にあり、三井諾伊井冊の二神を祀る、境域五十二町四方に亘り老杉古檜翳鬱として神威嚴に社殿の構造客殿の設備宏莊言はん方なし、近時信仰者益多く一年の參詣數萬に達す實に關東第一の靈地なり。



三峯神社の神殿

三峯の山をしづけみ水清み

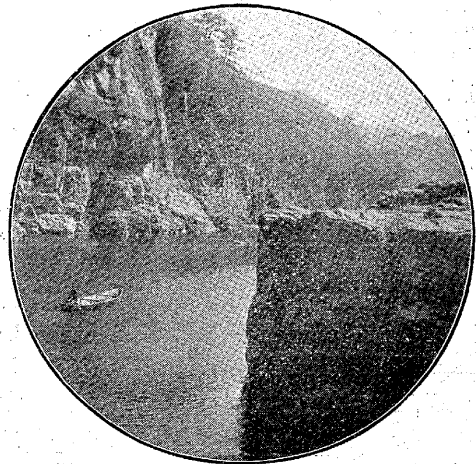
かみとこしへにしづまりいます

通 禱

長

瀨 (秩父赤壁)

上武鐵道寶登山驛より約二丁



長瀨の眞景

秩父郡國神村にあり荒川の清流藤谷淵に至りて漸く奇岩怪石に遮ぎられ愈奇景を展く百尺の懸崖轟々聳立して恰も屏風を立てたるが如く紺碧染むるが如く深淵に臨むこと三町餘所謂秩父赤壁の稱あるもの之にして河中の巖石また之に伴ふて盤踞し歩を轉ずる毎に深潭次第に趣を生

ず而して懸崖の盡くる處白鳥島美しく水に映り更に景を添ふ巖石の連なる間小池あり四十八池を數へ各其名あり附近香魚多く舟遊に適す若夫れ中秋の月滿崖の紅葉陽春の黃鳥に至つては更に賞すべきもの多し

登音風光夏秋佳
春花冬雪適咏游
最歡兩岸重巖下
松影蒼然映水流
鐵 研

官幣 中社 金 鑽 神 社

中仙道線本庄驛より約三里傳を通ず

兒玉郡青柳村にあり延



官幣中社金鑽神社殿

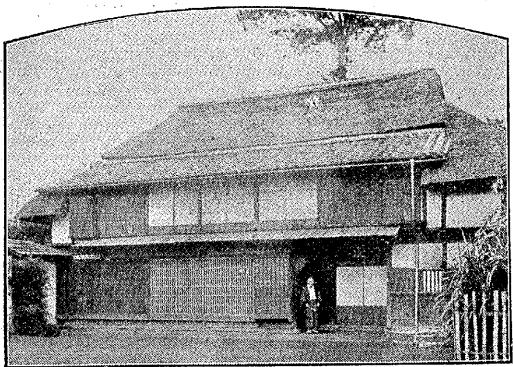
喜式内武藏二の宮と稱し、天照大神、素盞鳥尊、日本武尊を奉祀す、境内樹木鬱蒼として幽邃莊嚴なり、古塔あり、多寶塔と云ふ、天文三年八月晦日

阿保彈正金隆の建立する處、四百年前の建設物にして國寶たり、又境内に本邦養蠶の大家木村九藏氏の碑あり。

塙保己一翁の生地

中仙道線本庄驛より約二里半俣の便あり

兒玉郡金屋村大字保木野にあり、翁の本姓は萩野氏子孫連綿として農桑の業に従ひ家運今尙連綿たり、翁の遺物あり、觀る者をして將に絶世の偉人に接する



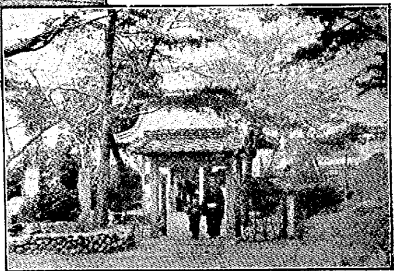
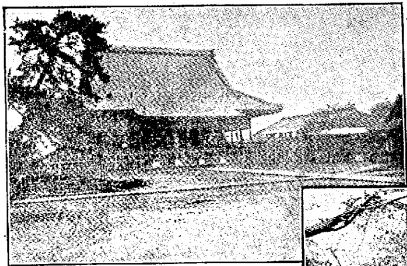
塙保己一翁の家

の思あらしむ。

熊谷寺……(直實の墓)

中仙道線熊谷驛より七丁

大里郡熊谷町に在り、淨土宗にして本尊阿彌陀佛は惠心僧都の作、多田滿仲の子丈丸の念持佛なり、と云ふ、地は熊谷次郎直實の城地にして直實發心後元久二年こゝに草庵を結び蓮生庵と號して隱栖し、役後天正年中萬海上人の創立するもの、即熊谷寺なり、放光の名號、直實の具足鎗刀馬具及自筆の書翰等を藏す、直實の墓は西北隅にあり、五輪塔にして古色掬すべきものあり。

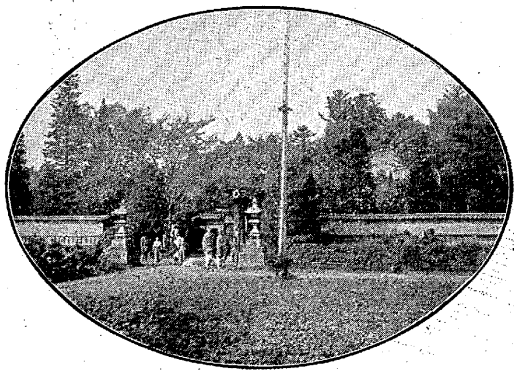


熊谷寺と熊谷直實の墓

妻沼の聖天

中仙道線熊谷驛より約三里俾馬車の便あり

大里郡妻沼町に在り、歡喜院の別堂にして夙に世人の知る所なり、堂宇の輪奐境内の古雅幽邃等殊更筆するの要なからん、信徒十數萬人實に關東の各府縣に亘り日々の參詣人百を以て數ふべく、殊に毎年節分には追儼式豆撒きありて參詣者數萬に及ぶ。



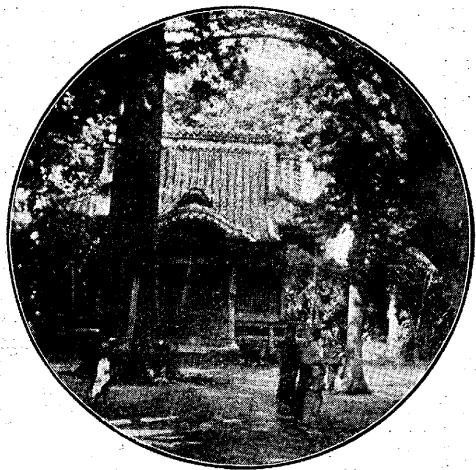
妻沼の歡喜院

一一四

檉樹の井戸

中仙道線深谷驛より一里二十町俾馬車の便あり

大里郡八基村鹿島神社境内に在り、檉の周圍三丈六尺枝葉十六間の



廣さに繁茂し心空洞なり内に古井戸の存するもの即之れなり。口徑三尺深一丈六尺水量七尺清冽樹にして苦味を帶ぶ、明治三年世界の探險家佛人「ブリユナー」氏來り斯の奇蹟を見て歐洲中絶て見ざる戸處恐らく世界の奇蹟ならんと賞歎せり、其他名士の來り觀る者も亦尠からざるなり。

熊谷の櫻堤

中仙道線熊谷驛より一丁

大里郡熊谷町にあり、長堤三十有餘里、帝都の墨堤に至りて盡く是れ荒川堤の起る所、所謂熊谷の櫻堤にして櫻樹里餘、遠く之を望めば一帶

一一五

の彩霞たなびくが如く、近づけば人は皆花の隧道を行く。又麥隴、桑園、菜圃の間を縫ふて漸く西すること數町にし荒川の清流に達す、架橋あり荒川大橋と云ふ、長さ一千八百尺往て見るべきなり。

荒川の沿岸…象ヶ鼻…鉢形城址

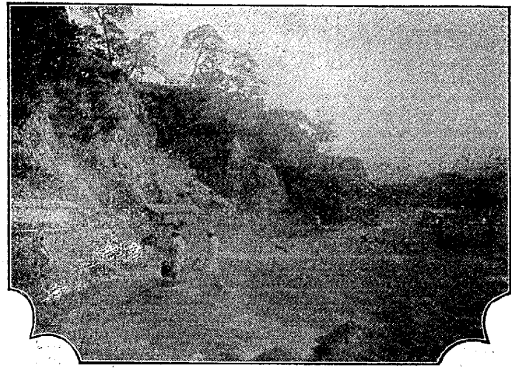
上武鐵道寄居驛より七町

大里郡寄居町の西方荒川奔湍曲流する處斷崖あり、所謂象が鼻の奇景之れなり、巖上老松參差として琴聲絶えず仰けば秩父群峯



熊谷堤の櫻

の青黛一眸の中に集り、伏して崖下を望めば、巨岩蟠まる所流水碎けて



萬斛の雪を散らし、碧潭渦まく所蛟龍の潜むなきやを疑はしむ、此の邊年魚の好場所、舟遊の樂盡きざる所なり、畏くも先川年 天皇陛下當時東宮に在します、行幸ありて鮎漁の御遊ありし所なり、又對岸數町を下りて高地秩父山脈と連聯せる實地點は之れ鉢形城址にして荒川の支流四十八釜の稱あり、自然の外濠となす、北條氏邦の居城にして天正十八年豊臣氏

の兵に圍まれ遂に落城せり、一度杖を曳くものをして懷古の情に堪えざらしむ。

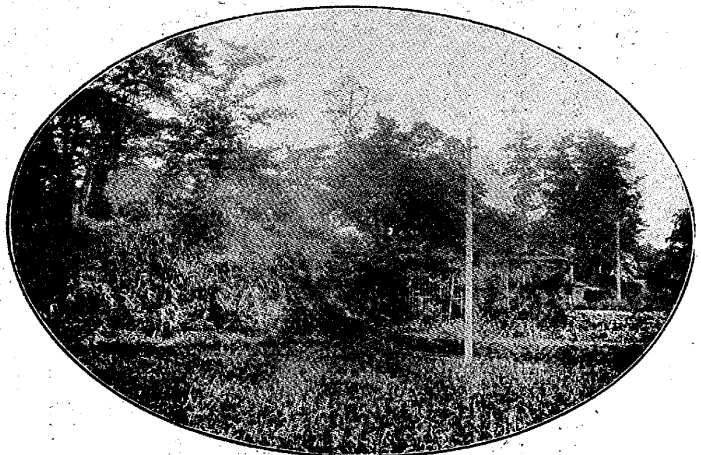
忍 城 址

中仙道線吹上驛より一里俛馬の便あり

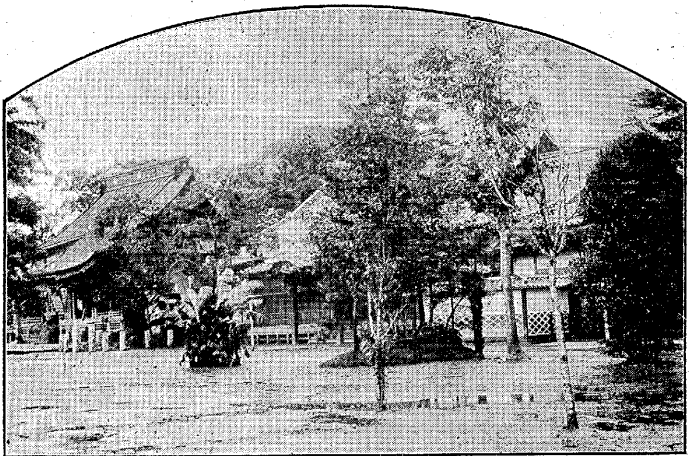
北埼玉郡忍町にあり、鴛鴦城又は浮城とも稱せり、文明年中成田親泰兒玉重行を亡ぼして之に代り、遂に松平忠堯伊勢桑名より來りて城主たり、封土十萬石傳はりて維新の新政に至る、今尙殘濠存して名城の一たり。

不動岡不動尊

東武線加須驛より約半里俛の便あり



忍 城 址



北埼玉郡不動岡村にあり、玉疇山總願寺と號す、本尊は智證大師作(又は空海の作とも云ふ)不動明不王にして元京都紫宸殿に安置せ動られしものなりと本尊、不動堂、籠岡堂、仁王門等丹碧の美見るべきあり、寺寶に天國の寶劍、玉疇の珠、兆殿司筆の十六羅漢の外幾多の佛畫を藏す、境域實に一萬坪に達し、尊老樹鬱蒼として堂宇を繞り、春の櫻花、初夏の花菖蒲、秋の菊何れも衆目を樂ましむるに足る。

御 獵 場

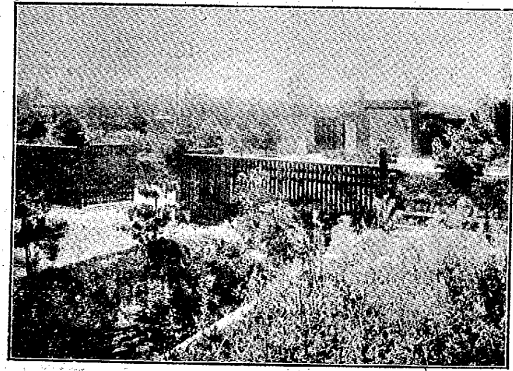
東武線越ヶ谷驛より約五町

南埼玉郡大袋村にあり、由來江戸川の畔飛禽群集するを以て地を此に卜し三萬餘坪を劃して鴨場を設置せらる「埼玉鴨場」と稱せられ閑亭を構へて御休憩の處に當てさせらる。

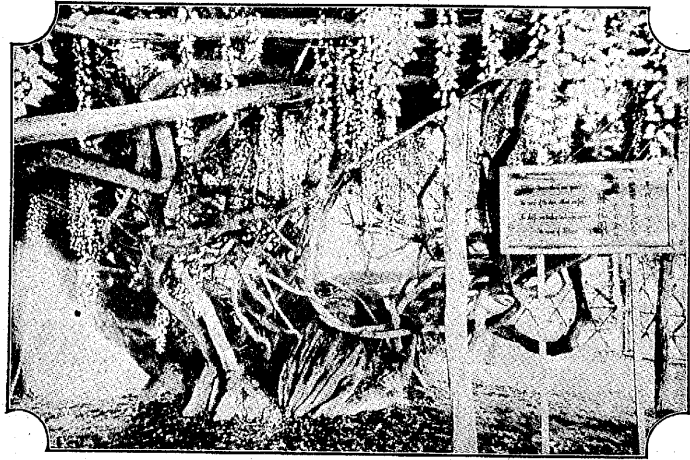
牛 島 の 藤

東武線粕壁驛より約十五丁俵を通ず

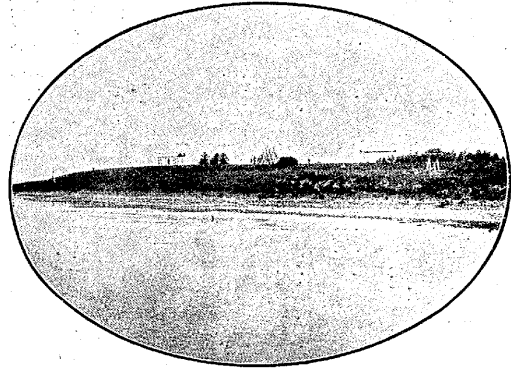
北葛飾郡幸松村字牛島にあり、藤樹の周圍丈餘花房六尺地を掠めんとするの狀頗る美觀を呈し花時觀客賑ひ其の名都門に高し園内に旗亭數戸あり、



御 獵 場 入 口



牛 島 の 藤 株



行 幸 堤

行 幸 堤

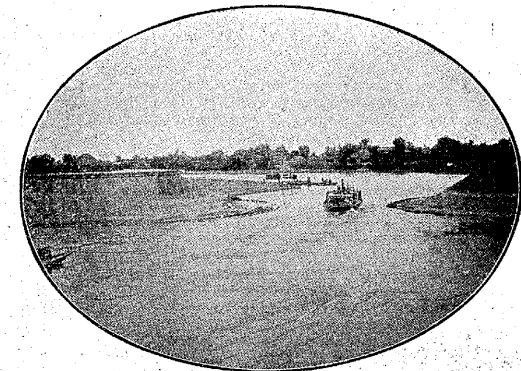
東北本線久喜驛より幸手町を経て一里半俵を通ず

北葛飾郡行幸村に在り、權現堂堤

即ち是れなり明治九年 明治天皇陛下
奥羽御巡幸の砌畏くも鳳駕を駐めさせ
給へしより其の名あり。

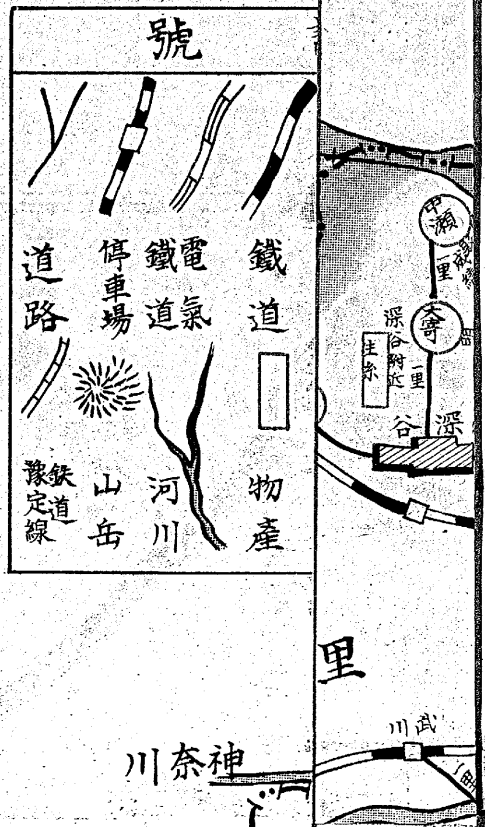
江戸川棒出工事

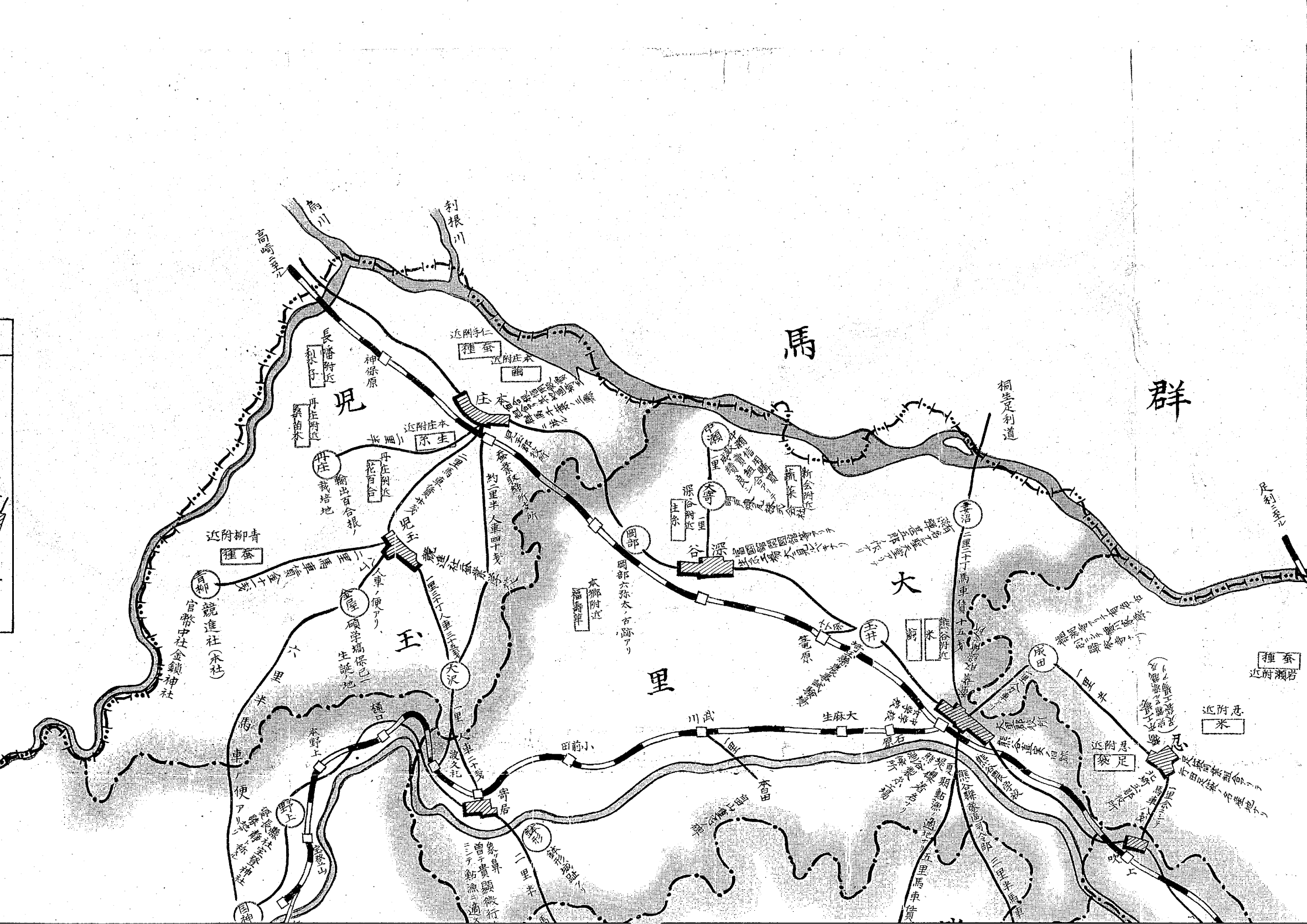
東武線杉戸驛より約二里傳馬車の便あり



工竣工の後實況

北葛飾郡豊岡村にありて、江戸川の棒
出工事是れなり、右よりするもの逆川左
よりするもの権現堂川となす、相合して
南流するものを即江戸川と云ふ、年々流
域氾濫田園荒廢す官之を憂へ四十二年
流口狭窄工事を計し遂に磬石を以て作れる築造物は流を狭んで雄姿
堂々其状恰も兩虎の耽々たるに異ならず、加之水勢碎けて白玉四方に
飛散するの壯觀往て觀るべきなり。





馬

群

桐定利道

大

里

兒

玉

馬川

利根川

近附仁

種蚕

次附庄本

庄

近附庄本

米畑

深生

長藩附近

丹庄附近

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

近附柳青

種蚕

青柳

競進社(本社)

官幣中社金鎖神社

陸

碩学橋保色

生誕地

六

里

馬

車

便

丹庄附近

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

丹庄

岡部

本郷附近

福壽草

岡部六弥太(古跡アリ)

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

深谷

新会附近

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

新会

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

三里

成田

成田

成田

成田

成田

成田

成田

成田

成田

成田

近附忌

發尼

發尼

發尼

發尼

發尼

發尼

種蚕

近附瀨若

近附忌

米

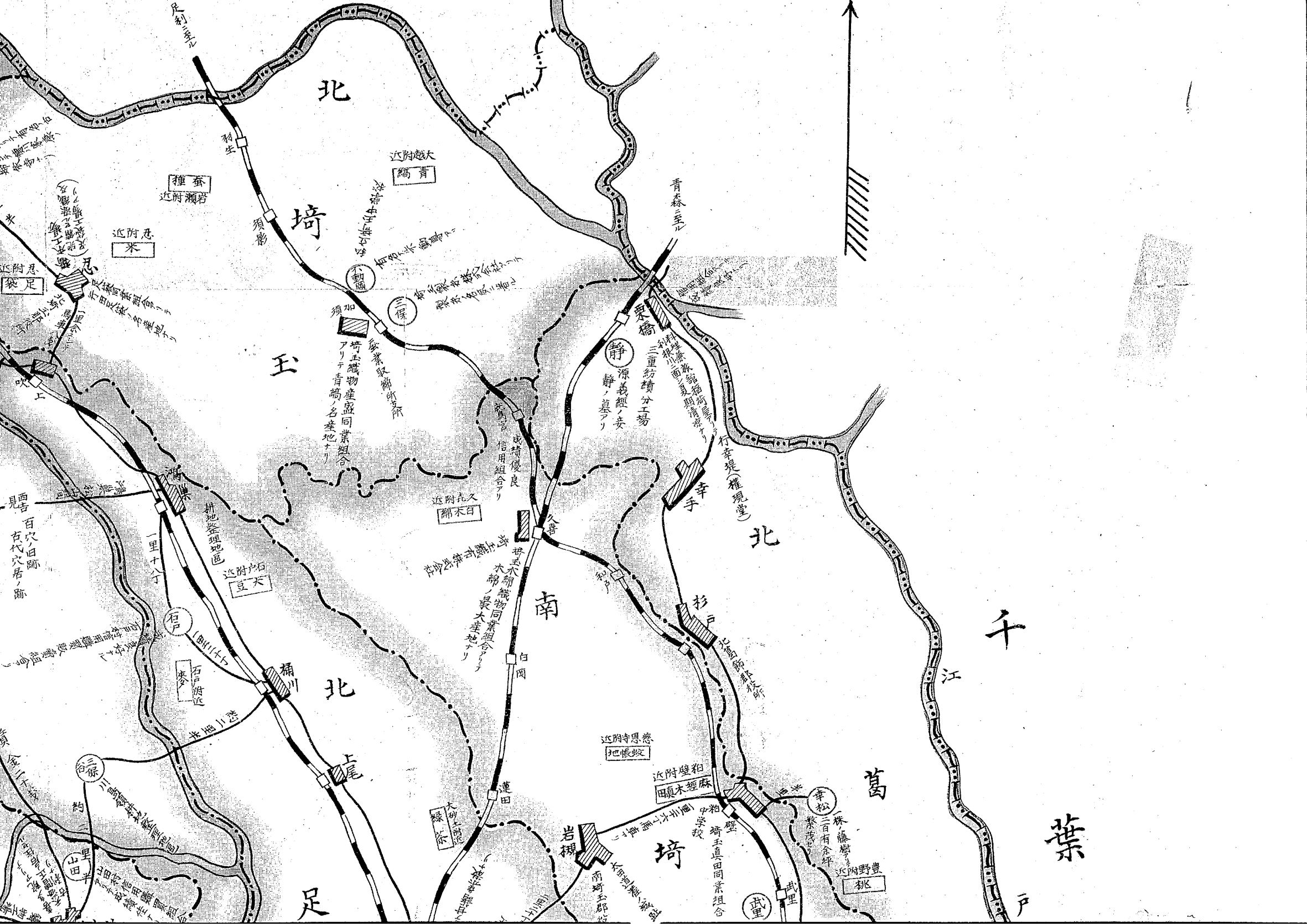
近附忌

發尼

發尼

發尼

發尼



北

埼

玉

南

北

千

江

葛

葉

戸

種蚕

近附忌米

近附忌袋足

近附越大
編青

須加

三保

静源義經ノ妻
静ノ墓アリ

幸手

近附花久
繻木百

近附石豆天

石戸

石戸附近

北

上尾

近附時恩慈
地帳坂

近附壁和
田真木經麻

岩棚

埼

近附壁和
田真木同業組合

武里

幸松

近附野豊
秋

見吾
百穴ノ跡
古代穴居ノ跡

耕地整理地区

近附花久
繻木百
近附花久
繻木百
近附花久
繻木百

南埼玉郡役

幸松
株籬樹ノ
繁茂アリ
三百有余坪

近附野豊
秋

武里

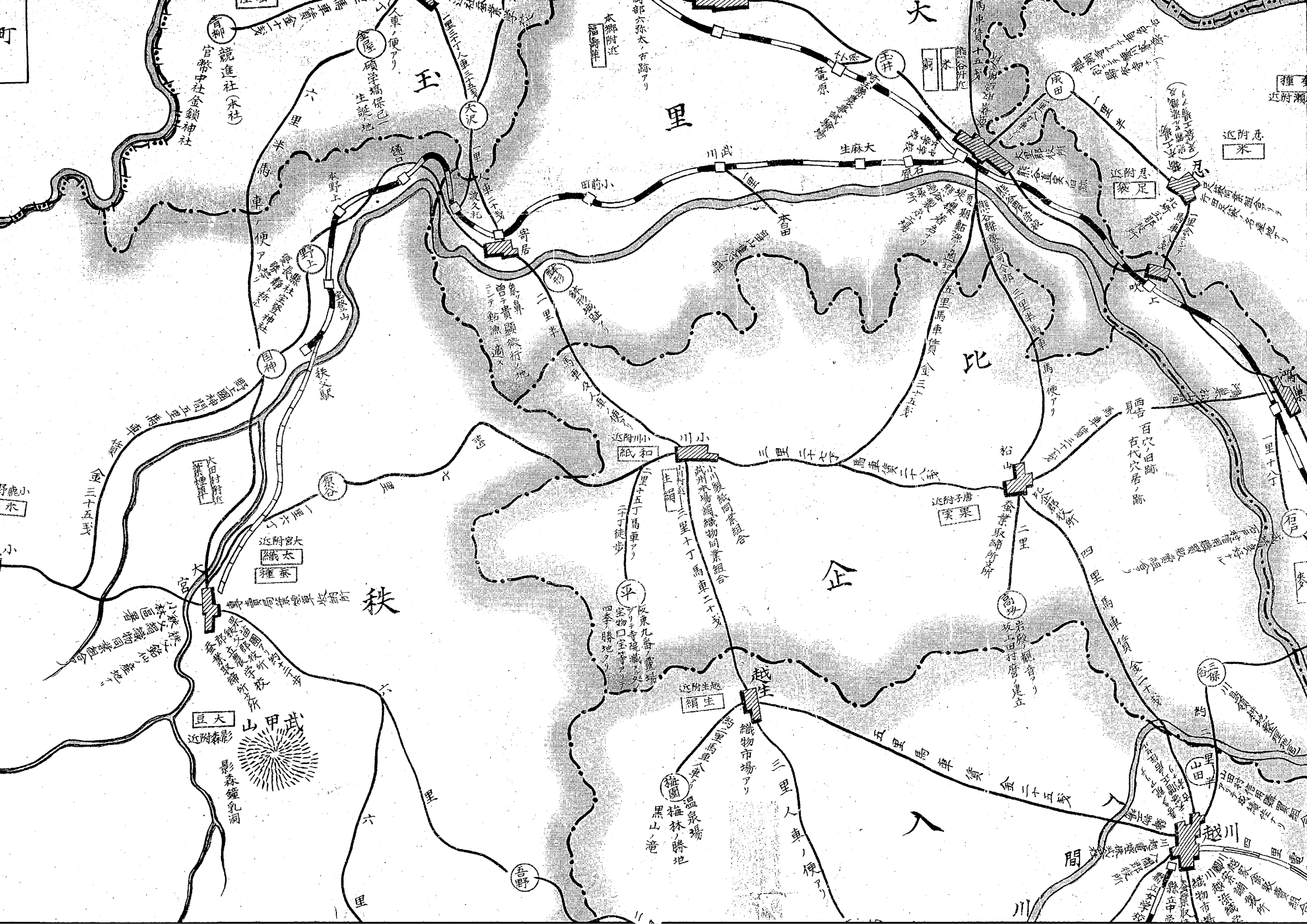
武里

幸松
株籬樹ノ
繁茂アリ
三百有余坪

近附野豊
秋

武里

武里



大

玉里

比

企

秩

武甲山

影森鐘乳洞

競進社(本社)

碩学橋保田
生涯池

本郷附近
福壽草

生麻大

成田

近附志
米

近附志
袋足

野上

寄居

二里半

紙和

川小

栗栗

二里

平

越生

温泉場

黒山、滝

吾野

三保

山田

間

川

野鹿小
木

大田村附近

近附官大
織太

種茶

巨大

近附森影



影森鐘乳洞

大田村附近

近附官大
織太

種茶

巨大

近附森影

影森鐘乳洞

大田村附近

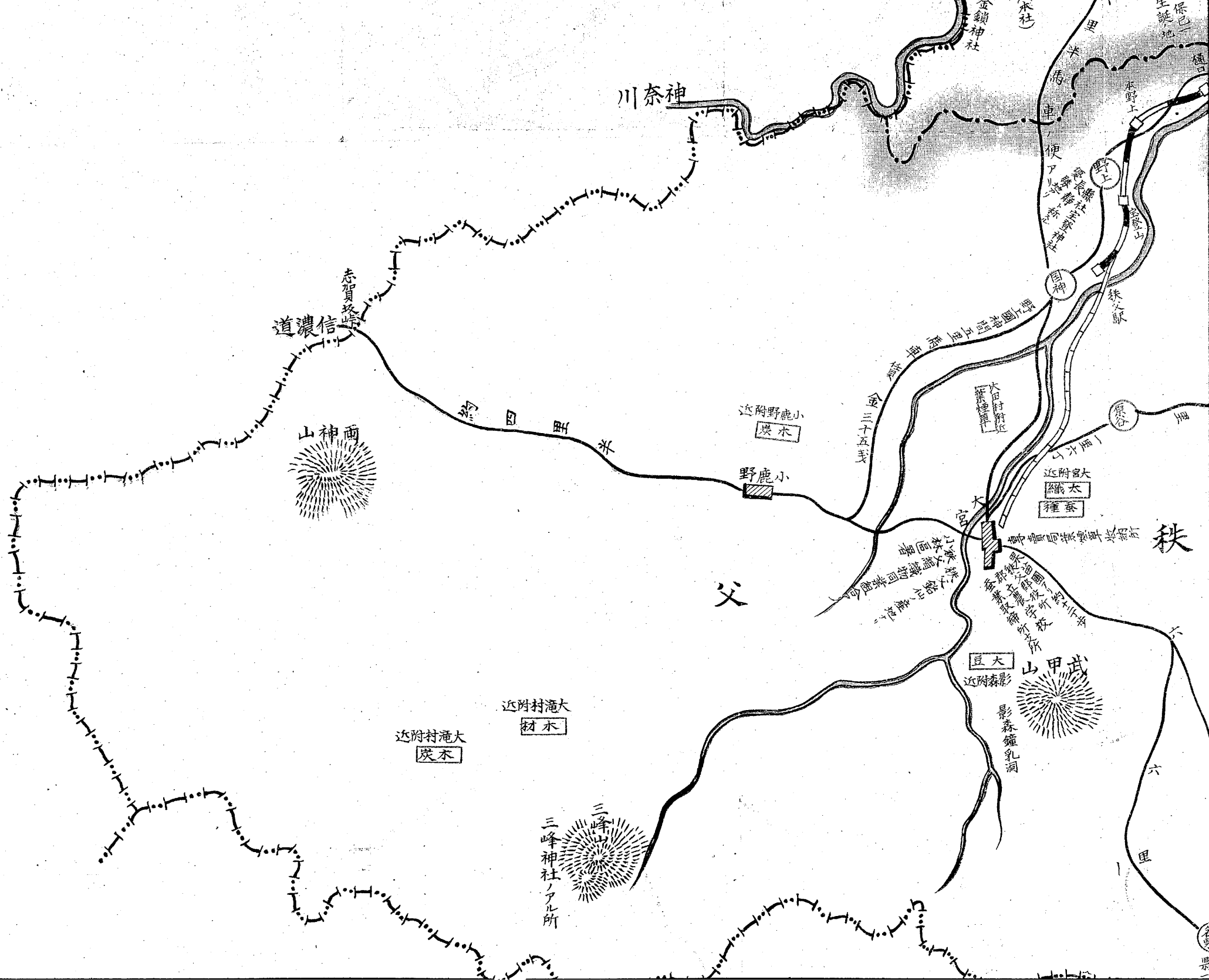
近附官大
織太

種茶

巨大

近附森影

影森鐘乳洞



川奈神

道濃信

志賀坂峠



山神雨

約四野米

近附野鹿小
炭木

野鹿小

大田村附近
葉榎原

近附武甲山
種蚕

父

近附村滝大
炭木

近附村滝大
材木

三峰神社ノアル所



武甲山

影森鐘乳洞

秩

六

六

里

金鎖神社
(本社)

里

馬

中

便

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

野上

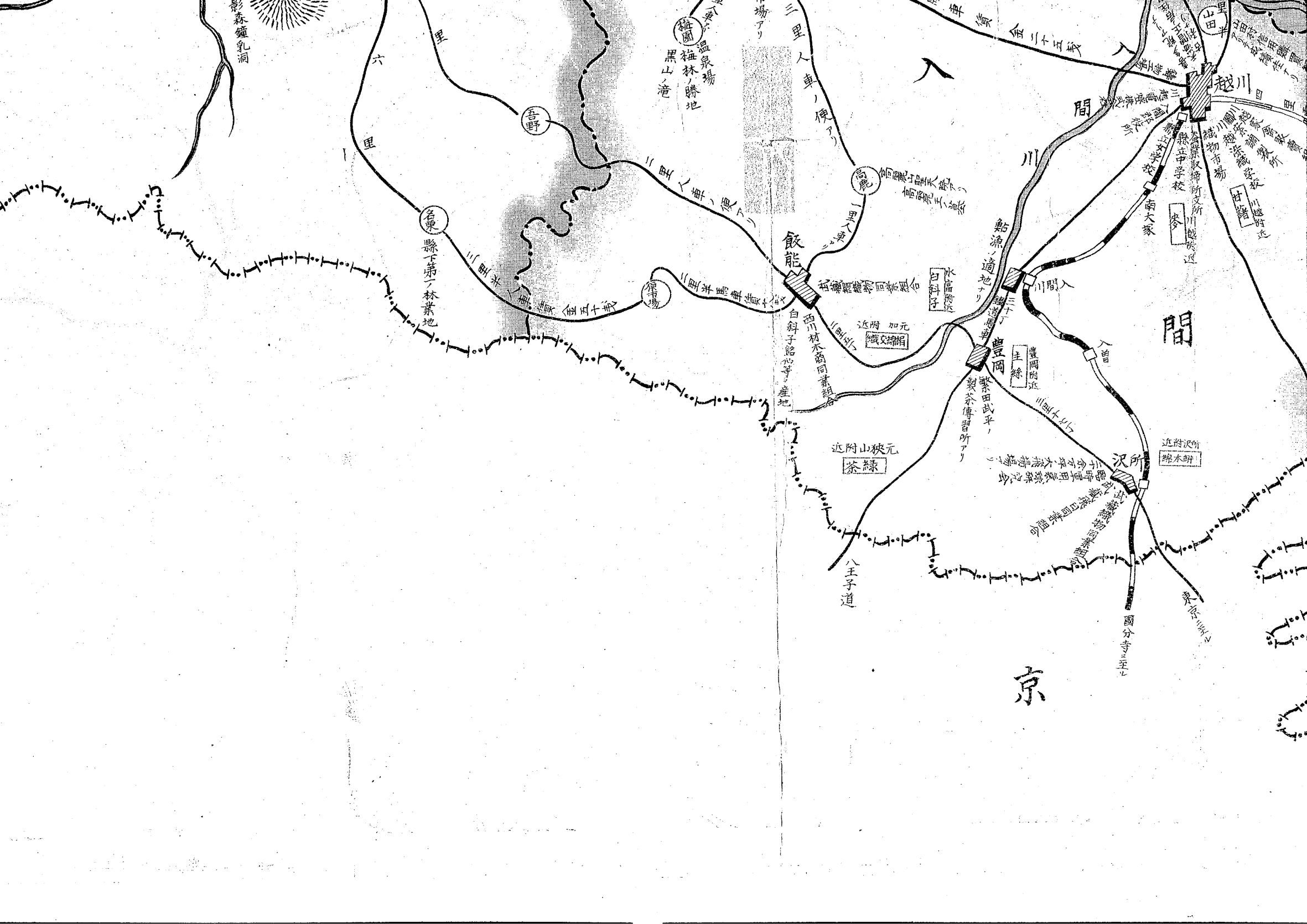
野上

野上

野上

野上

野上



影森鐘乳洞

六里

名栗
縣下第一林業地

吾野

温泉場
梅園
梅林
勝地
黒山港

信持

飯能

近附山狭元
茶緑

八王子道

高尾

豊岡

京

沢所

國分寺至

間

越川

山田

甘粕

金三十四

船漁ノ適地ナリ

水田

主緑

製茶傳習所

近附沢所
綿木餅

織物市場

縣立中學校

南大家

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

川越

大滝村附近
炭木

材木

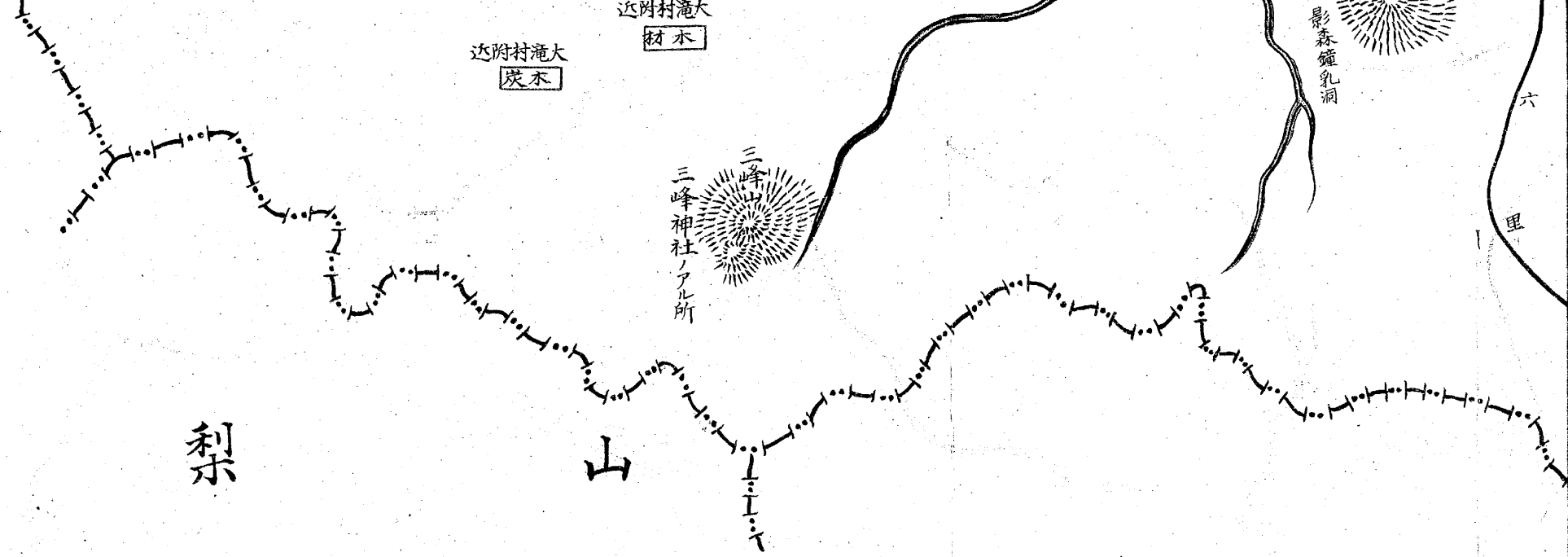
三峰神社ノアル所

影森鐘乳洞

六里

梨

山



大正二年十月八日印刷
大正二年十月十日發行

埼玉縣

印刷者 石丸 鶴吉

印刷所 東亞印刷株式會社

東京市京橋區鈴木町二番地
電話京橋(長)二三三四
振替口座一九二五四

